

2016—2017

INTERNATIONAL



ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区報

BULLETIN

第1号 通巻60号/2016.8発行

JAPAN WEST REGION

西日本区理事主題 Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit!
ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を!

国際会長主題 Our Future Begins Today 「私たちの未来は、今日から始まる」

アジア地域会長主題 Respect Y's Movement 「ワイズ運動を尊重しよう」

ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を!

— 定例会の充実と 活発な奉仕活動でメンバー倍増! —

Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit!

— Doubling membership through having substantial meetings and active service! —

2016-2017 西日本区理事 岩本 悟

2016-2017 Regional Director, Japan West Region

Satoru Iwamoto



第20代西日本区理事を拝命いたしました熊本にしクラブの岩本 悟でございます。私は亦の名を「渡り鳥の岩本」と呼ばれています。それは、熊本ジェーンズに入会後、熊本むさし・熊本ひがし・熊本にしと、クラブをチャーターする度にチャーターメンバーとして関わり、移籍して来たからです。これからの1年間、よろしくお願い申し上げます。

まず、今回の熊本地震にあたり、世界中のワイズメンから心温まるご激励やご支援を沢山頂きました。心より感謝申し上げます。改めてワイズの素晴らしさと絆を実感し、ワイズメンとしてのプライドを強く感じております。

更には、私達が支援するYMCAの素晴らしさです。地震後、全国のYMCAのスタッフが駆けつけて、ご奉仕頂きました。赤いビブスを着たボランティアの献身的な奉仕に、地域の方々から称賛の声が多数寄せられています。本当にありがとうございます。

第19回西日本区大会の理事引継ぎ式後の所信表明でも申し上げた事ですが、私は今期の重点目標として3つ掲げました。

I'm Satoru Iwamoto, the 20th Regional Director of Japan West Region, from Kumamoto-Nishi Club. I'm also called "Migratory Bird, Iwamoto." The reason being that after I joined Kumamoto-Janes Club, I transferred to Kumamoto-Musashi Club, Kumamoto-Higashi Club, and Kumamoto-Nishi Club as they were chartered as a charter member. I'd like to ask you for your all-out support to and cooperation with me for the 2016-2017 service year.

To start off with, I would like to express my sincere appreciation to the Y's men around the world who gave hearty encouragement and support to the sufferers from the Kumamoto Earthquake. I realized anew the true value of Y's Men International and its worldwide network of friendship: I'm very proud of being a member of YMI. I also realized the true value of YMCAs we support. Soon after the Kumamoto Earthquake, many staff members of YMCAs across Japan came to Kumamoto to give the sufferers a helping hand. A large number of the locals expressed words of admiration to the volunteers wearing red bibs for their dedicated service. I cannot thank them too much.

As I said in my general-policy speech after the succession ceremony of Regional Directors in the 19th Japan West Regional Convention, the three main objectives we want to accomplish for this service year are as follows.

1. To render active service with the "Spirit of Love and Service"

— 定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増! —

1つは、「愛と奉仕の精神」で活発な奉仕活動の実践。実践をお願いいたします。

2つ目は、「定例会」の充実です。ハード・ソフトの両面をお願いいたします。

3つ目は、「9つの部」全てでエクステンションにチャレンジを! です。

そして、以上3つの目標を達成する為に、2つのお願いをしました。

1つは、今までに区役員・部役員・クラブ会長を経験された方は、ワイズの必要性や社会的な意義、ワイズの醍醐味や魅力を存分に満喫されているはず。是非、その素晴らしさを多くの方に伝えて頂き、EMCにつなげて頂きたいと思います。特に役員経験者の率先垂範をお願いします。

2つ目は、総主事や連絡主事等、YMCA関係者へのお願いです。言うまでもなく、ワイズはYMCAの応援団です。応援団を増やす事がYMCAの活性化と繁栄につながる事は、間違いありません。YMCAには、理事や常議員、運営委員やプログラム会員の保護者、リーダーのOB・OG等、YMCAを理解している方、YMCAに好意を持っている方が沢山いらっしゃいます。いちいち「YMCAとはなんぞや」と説明する必要もありません。そのような方々に対して、ワイズ活動をご紹介して頂き、メンバーになって頂きましょう!!! そうしたら、今までのいち運営委員、いち保護者から、ワイズメンとして二本のパイプ、二重の応援者となり、絆は更に強く、太くなります。

有り難い事に、2つのお願いのそれぞれの大御所から応援メッセージを頂いており、フォローの風が吹いているのを感じます。うまく風に乗りたいです。

今期は、日本区が東西に分かれて20年目に当たります。20周年を記念して「**第2回東西日本区交流会**」を2017年2月4日(土)・5日(日)に東山荘で行います。この交流会を通じて、日本全体のワイズの活性化につながるよう力を注ぎます。

また、西日本区として今期より2つの特別委員会を立ち上げます。

1つは、「**財政問題等検討特別委員会**」です。最近、会員の減少で区の一般会計は単年度で赤字が続いております。これを抜本的に見直して、健

2. To enrich monthly club meetings in terms of hardware and software

3. To energetically try to charter a new club in all nine Districts in Japan West Region!

I asked you two things to accomplish the three objectives. For one thing, those who have served as an executive officer at regional or district levels or as club president must have fully aware of the need and social significance of YMI, as well as its genuine value and attractiveness. Therefore, I hope that they will propagate the merits of being a Y's man to as many people as possible, which will pave the way to EMC of its membership. I want ex-Regional and District officers to take the initiative in this endeavor.

The second one is related with those who work for the YMCA such as General Secretaries and Related Secretaries to Y's Men's Clubs. Needless to say, Y's men are supporters to the YMCA. It goes without saying that increasing its supporters will lead to the vitalization and prosperity of the YMCA. A large number of people are involved in the YMCA; the Directors of the Board, the Permanent Council members, the Steering Committee members, and the parents of students who registered for various programs the YMCA offers, as well as OBs and OGs of YMCA Youth leaders. As they are so well-informed of and in favor of the YMCA movement that you need not to explain to them what the YMCA is all about from scratch. Please inform them of the Y'sdom and encourage them to join it! If they join a Y's Men's Club, they can transform themselves into a Y's man who is a double supporter with dual ties with the YMCA not as a mere steering committee member or a parent of a YMCA student. That will surely strengthen the existing ties between the two organizations much stronger.

Fortunately, I received a strong endorsement from two leading figures of YMI and the YMCA. I feel a favorable wind blowing for achieving the objectives I mentioned. I'm going to make the most of it.

We will be celebrating the 20th anniversary of the division of Japan Region into Japan East Region and Japan West Region. We are going to have the second get-together of the members of JER and JWR on February 4 (Sat.) and 5 (Sun.), 2017 in Tozanso International Youth Center to commemorate the occasion. I'll make every effort to make the get-together successful so that the Y's movement in Japan will be vitalized further.

I'm going to set up two ad hoc committees starting this service year. One is "the Special Committee on Reviewing Financial and Related Matters." In recent years the general account of JWR has been in the red on a single fiscal year basis owing to the decrease in membership. The committee will thoroughly review the income and expenses of JWR to put its finances on a sound footing. The other is "the Special Committee on the Vision for Y'sdom" whose bill was laid and approved in the first

全化に導く為です。

2つ目は、第1回役員会の議案として上程し可決されました「ワイズ将来構想特別委員会」です。ワイズの将来像や基本的な存在価値、YMCAとの協調の在り方等、シンクタンクの機関として設け、会員減少に歯止めをかけ、飛躍の足掛かりとします。

長くなりましたので、各事業については、各事業主任さんのページをご覧ください。

最後に決意表明です。私自身、目標達成の為にワイズに命を捧げるつもりで、東奔西走、頑張る決意です。今の私があるのも、先輩ワイズメンはじめ多くのワイズ仲間のお蔭です。ワイズにご恩返しするつもりで一生懸命頑張ります。皆様のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

Executive Meeting of JWR. The committee will serve as a think tank to deal with such issues as the future image of Y'sdom, its raison d'être, and collaboration with the YMCA. The purpose of the committee is to prevent the members from decreasing and reverse a downward trend in membership for a great leap forward.

As regards respective Service Programs of this service year, please refer to the pages of Regional Service Directors to save space.

Lastly, let me declare my resolutions as the Regional Director of JWR.

I'm determined to run around across Japan and devote myself wholeheartedly to the Y'sdom in order to accomplish my objectives. I owe what I am today to my senior and fellow Y'smen. I'll leave no stone unturned to pay back their favors. I'd like to ask you for your all-out support and cooperation from the bottom of my heart.

2016 ～ 2017 年度西日本区事業目標

YMCAサービス・ユース献金 (国際ASFを含む) 1人あたり2,000円	RBM(ロールバックマラリア) 献金 1人あたり800円
地域奉仕活動(CS) 献金 1人あたり1,500円	YES(Y's Extension Support) 献金 1人あたり500円
TOF(Time of Fast) 献金 1人あたり1,400円	東日本大震災復興支援献金 1人当たり1,000円 合計150万円
FF(Family Fast) 献金 1人あたり800円	熊本地震復興支援献金 1人当たり1,000円 合計150万円
BF(Brotherhood Fund) 献金 (現金+使用済み切手換金分) 1人あたり1,500円	E(Extension) 新クラブ設立 +5クラブ
EF(Endowment Fund) 献金 記念ごと献金 1口120CHF 合計3,000 CHF(スイスフラン)	MC(Membership & Conservation) 会員数増強 前期末+200名
JWF(Japan West Y's Men's Fund) 献金 記念ごと献金 1口5,000円 合計50万円	情報発信 区報 年3回、理事通信 年12回
	LT(Leadership Training) 次期役員研修会、次期会長・主査研修会 各1回

ご あ い さ つ



人生 60 年、 その後は、余生

次期理事 大野 勉
(神戸ポート)

1956 年申年生まれ。人生 60 年、還暦を迎える。12 年を節目と考え、人生をふり返ってみる。

0 歳：福岡県飯塚市に生まれる。4 人きょうだいの末っ子。上の兄姉からは、かわいがられたのか、いじられたのか、卓袱台の上で無理やり立たされたそう。

12 歳：西宮市内の小学校を卒業。自宅近くに酒造会社(白鹿酒造)のグラウンドがあり、子供たちに開放されていた(と思う)。春夏は野球、秋はサッカー、冬は木箱置き場で基地づくりをして遊んだ。その後、中・高・大とスポーツを続けた。

24 歳：これまでの体力、健康と少しの知力を生かして教員となる。人の前に立つことで、自分を見つめ直し、何を、どうすべきか、そのためには、何を学び、どう準備すればいいのか、学びの大切さを知る。

YMCA と出会ったことで、大きな影響を与えられる。人生の上での仕事とは、「生業(なりわい) = 自分のため」と「奉仕 = 人のため」、この二つのバランスが必要だということ学ぶ。

36 歳：ワイズ入会 1 年前。自分は仕事でまだ力を出しきれていないのではないかと疑問を感じ始めていたところ、1994 年 1 月、神戸学園都市クラブに入会。組織としてボランティアに取り組むことで、より大きな貢献ができることに気づいた。

48 歳：1995 年の阪神・淡路大震災以後、人生が変わった。何か、ずっと走り続けてきたような感じがする。若いころ鍛えた体がこわれた。再度トレーニングに励むべく、46 歳から走り始めた。その時、ワイズの皆が応援してくれた。2010 年からの「折りづるラン」では、神戸から広島へ、神戸から横浜へ、ワイズの絆が支えてくださった。それからは、応援いただいた方々へのお礼の気持ちで走り続けているような気がする。これは、健康あつてのことだ。体がよく動くものだと自分で驚いている。応援があるからこそ大きな力が出ることを、身をもって体験した。

60 歳：そして、今年、西日本区次期理事を拝命。来年は理事。身の引き締まる思いだ。これまで自分が健康

に、元気に過ごせたことに感謝の気持ちをもって、支えていただいた多くの方々に、何とかして恩返しをしたい。「余生」はそのためにあると考えている。



ミスターエクステンション になるために

直前理事 遠藤 通寛
(大阪泉北)

西日本区第 20 期岩本 悟理事期の活動が始まりました。昨年の区報第 1 号を開き、岩本理事(当時は次期理事)の「ごあいさつ」を読み返してみました。タイトルは「エクステンションに情熱を捧げる男」とあります。ご自分の活動の紹介に続き、西日本区第 1 期の佐々木宣夫(岡山)理事期に 5 クラブが誕生したことにふれ、今期は各部に於いてチャーターをする意気込みで頑張りましょう、とあります。メンバー増強目標は 200 名ですから、9 つのクラブが誕生すれば目標に到達することが可能となります。

ミスターエクステンションになるためには、理事の目標に沿った行動を取らなければなりません。過去のデータに依りますと、毎年 30 名程度の減少が続き、大変危機的な傾向が続いております。前期に於いても同様の結果となり、大変申しわけなく残念でなりません。各部において最大の会員数を数えていたクラブもかなり人数が減少しているように思われます。その中にはエクステンションをされたために減少しているクラブもありましょう。

岩本理事は明確な目標に向かっておられます。私たちは点けられた火を守り、絶やさないようにしなければなりません。

岩本理事をミスターエクステンションに！



22 世紀に生きる君たちへ

書記 亀浦 正行
(熊本にし)

司馬遼太郎が次代を担う若者へ贈った「21 世紀に生きる君たちへ」の先の時代を生きる若者へメッセージ

を手渡すために、私たちワイズメンは働いています。メッセージの中身はワイズメンのそれぞれの想いの色と輝きがありますが、その光の照らす方向は一つです。一つひとつの光はほのかでも、集まれば100年先をくっきりと照らし出します。

人々は1900年代の初めより半ばまで力づくの争いをし、身近に噴き出たあまりの不条理に恐れおののき、その責任の大きさに大いに戸惑いました。

争うことの愚を身をもって知り、次代へのメッセージとしたのですが、贈られた方はその想いをつなぎ留められずにまたぞろ歩む方向を見失いつつあるのではと自らを危惧します。

地球人口は数年で70億人近くになり、50年を待たずに100億人を超えるのだとメディアは警告しています。このままでは地球が生産する食物は人が食い尽くして、人間どころか地球上の全ての連鎖が途切れて、生きとし生けるものが破滅の危機にあるのだそうです。

このように課題は示されていて、その問題解決に時間の浪費は許されず、無駄な議論をしている場合では無い。一人だけでは、一国だけでは解決できないことは自明なのに、旧態のナショナリズムがあちこちで台頭するのはどうしたものでしょう。

一方、地球に意思があるなどとは言わないけれど、自然災害で悲惨な状況がうまれても、そこから何とか乗り越え、お互いが心を寄せ合うことの大切さ、素晴らしさを教えてくれました。

私たちワイズメンは、1世紀になろうとするその活動で紡ぎ照らし出した灯が、人類のみならず、すべてのもののあるべき方向に向いていることを知っています。

政治と行政も問題の存在は十分に認識していますが、先に述べたように横へ歩いたり引き返したりすることを繰り返しています。あまりにも目先の効率功利を求めすぎて歩むべき方向を見失い、よろつくこともしばしばです。

私たちワイズメンに示された本分の一つは「見返りを求めない愛」「無署名性の愛」でしょう。

そして、私たちが一つ望むのは「恩送り」です。もらった恩を君たちへ贈る、そして君たちはもらった恩を次の世代に送ってもらいたいという壮大な浪漫なのです。

だからこそ、良質な贈り物を用意しなければなりません。時代を超えていぶし銀のように輝く良質なプレゼントを！

幾つになっても、戸惑った青い日のままの自らを、西日本区書記の仕事を通して見つめる機会とします。感謝



西日本区会計の 就任にあたり

会計 森 律子
(八代)

今期岩本悟西日本区理事のもと、会計を務めさせていただきます。

1年前、岩本悟西日本区次期理事の訪問を受けました。わざわざ八代まで足を運ばれるのには、重大な何かがあると予想はできました。「西日本区会計を」と言われ、予期せぬ出来事に気が遠くなり、また大変な役割を担うと思うと、引き受けるべきか、私で良いのだろうか悩みながらも、与えられた役割を頂くことにしました。この時、次期に向けての会議・研修会は始まっていましたし、出遅れた分、会計としての心構え・その役割・業務を学び展開していく過程で、果たして足並みが揃うのは何時になるのだろうか等々、考えたものです。

その後役員会で承認を頂き、次期会計として財務委員会の委員として、心の準備もさることながら、10月開催の第3回財務委員会から役割が始まりました。

財務委員会は常置委員会の一つとして位置付けられ、運営は財務委員会規則によって方向づけられています。第2条に委員会の目的として「西日本区の財務問題について協議し、その基盤強化と、より効率的な資金運営をはかること」となっています。

財務委員会の委員としての主な活動内容は、定期的集まり、入金・出金を伝票によってチェックする作業に始まり、現金残高、通帳の照合を行い、当日までのお金の動きを確認するとともに、事務所職員と情報を共有することです。この時期の役割は、財務委員会の議事録を作成し委員長に提出する事でした。これは慣例として次期会計が担当することになっているからです。

そして西日本区会計として、2016年7月から2017年6月までの1年間の役割です。ワイズメンの活動が円滑にかつ充実したものになること、理事ゴールが達成できるよう、皆様のご協力をお願いいたします。私も西日本区の会計として精一杯努力していきます。ワイズの活動が行われる為には、財政基盤を安定させることが必要です。財政の健全化・安定化には会員数を増やすことが大事で、しかも効果があります。EMC事業への積極的な取り組みをお願いします。

また会計として、各事業が円滑に進むように、また献金

目標が達成できるように努めていきます。東日本大震災から5年、4月には熊本地震が発生し、西日本区はもとより、東日本区や海外からもご支援をいただいています。復興支援も継続して取り組んでいきます。

財政監事の監査・指導を仰ぎながら、皆様からお預かりした会費や献金の適切な運用と有効活用に努めます。

西日本区事務所と協働して透明性を維持しながら、正確で迅速な会計の役割を果たしていきたいと願っています。

皆様のご支援をお願い申し上げます。



ワイズメンズ運動の豊かな展開を

行政監事 松本 武彦
(大阪西)

岩本悟西日本区理事(熊本にし)による第20期の西日本区理事活動がいよいよスタートしました。地元・熊本における地震被災への対応を抱える中ではありますが、しっかりとスタートされました。

岩本理事は、その理事活動の主題を「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を!」とし、副題を「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増!」としておられます。

私たちのワイズメンズ運動は、YMCAや地域社会・国際社会への奉仕活動を通じて自己研鑽の機会と交流の喜びを得ることに大きな意義があり、社会的必要性もあると思います。また、自分自身はもちろん、周りの人たちをも勇気付け励ます大きな働きをもしていると思います。そして、次世代を担う人々をも励まし続ける貴重な活動であり、これを次世代につなげてゆかなければなりません。

ワイズメンズ運動は、ワイズメン一人ひとりがそれぞれの持つ力を発揮してワイズ活動に励む、これにワイズの仲間が響き合い、ともに歩むとき、その力が大きく増し広がってゆくとともに、ワイズメンズ運動の根幹をなすワイズスピリットを次世代につなげてゆくことができます。

冒頭で紹介しました岩本理事の理事活動の主題・副題は、ワイズメンズ運動のこのような働きを強めるとともに、永続性のあるものとするにつなげるものであり、これを実現するための具体的活動をお述べになったものであります。

今期は、「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を!」の言

葉をいつもここに置き、「定例会の充実と 活発な奉仕活動でメンバー倍増!」の言葉をいつも念頭に置いて、ワイズメンズ運動を豊かに展開しましょう。

今期、私たち日本のワイズメンは、日本区が東西に分かれて20年目を迎えます。これを記念して、2017年2月4日(土)～5日(日)に、東山荘(日本YMCA同盟国際青少年センター)において、第2回東西日本区交流会が開催されます。この集まりに出席して、東日本区の友と豊かな交流の場を持ち、東西日本区におけるワイズメンズ運動の豊かな展開をともに祈念しましょう。



躍動感のある西日本区に!

財政監事 高瀬 稔彦
(岩国みなみ)

先日開催された第19回西日本区大会の理事・役員引継式において浅岡徹夫財政監事が西日本区役員会を卒業されるセレモニーで、わたしは思わず熱いものがこみあげて前が見えなくなりました。

若輩者のわたしが、これまで務めを果たしてこられたのは、ひとえに浅岡徹夫ワイズのおかげです。

私自身が判断を求められて迷った時は、いつもお電話して相談にのっていただきました。

厳しい意見をおっしゃるときも 穏やかにゆっくりとした口調でおっしゃっていただいて、ずっと受け入れることができました。

西日本区役員会における監事講評でも浅岡徹夫ワイズは、さまざまなことに目を落とされて、いつもニュートラルな意見を述べられ、よりよい方向へと導かれました。

人生経験そのものが違う訳ですから、全く同じような真似はできないとわかっていながら、その責任感に押しつぶされそうになる今日この頃です。

さて、わたしは次期における次期理事として、皆様に迎えられてから6年目を迎えました。

わたし自身が理事だった時期も踏まえて、現在のワイズメンズクラブ西日本区を見た時に感じることは、組織もクラブも運動体としても硬直感が強くなった気がします。かくいうわたし自身も、理事だった時と比べて、考え方が保守的になったと感じています。

財政監事の抱負として、惰性ではいけませんが、新しいことに挑戦する、進取の気風に富んだ運営を心掛け

たいと思っています。

こんな若輩者に成長のステージを用意していただいた皆様のご厚意に応えるべく、西日本区役員として最後

の一年を皆様のご期待に応えられる一年間にします。
ひきつづきのご支援と友情を賜りますよう、お願い申し上げます。

ワイズメンズクラブ国際協会から



豊かで実りある一年を

2016-2017 年度国際会長
ジュアン・ウイルソン(カナダ)

親愛なる西日本区のワイズメン、ワイズメネット、ワイズユースの皆様

クラブの新年度が始まるのにあたって、「西日本区報」を通じて皆様に心からご挨拶を申し上げることが出来ます事を嬉しく思います。

区・部・クラブレベルで新しいリーダーがそれぞれの役職についた今こそ、新年度の野心的な目的や計画を達成する為に尽力する好機なのです。全ての会員とクラブに対してこれらの目標に向かって協調的かつ精力的に努力されますよう奨励いたします。

2016-2017 年度の国際会長として選んだ主題は「私たちの未来は、今日より始まる」、スローガンは「手を取り合えば、もっと多くのことができる」です。今から我々の運動の核となる以下の価値基準に重点を置いて協調的に努力すれば、我々の国際的運動は大きく前進すると確信しています。

- * YMCA を支援する
- * 地域社会の助けを必要としている人々に奉仕する
- * 国際プログラムを通じて世界中の他者に援助を行う

私は、西日本区が成長を続け、他者への奉仕という目標に向かって我々の運動を前進させる上で大きな役割を果たされると信じています。

新しい年度が豊かで実りある一年になりますよう祈念しております。

ワイズの心を込めて 敬具



素晴らしい成果を願う

2016-2017 年度アジア地域会長
チュン・ミンシャオ(台湾)

親愛なる全てのワイズメン、メネットの皆様、7月1日から私がアジア地域会長に就任することに伴って、日本の全てのワイズの会員の皆様に心からの祝辞をお届けする時がまいりました。

日本のワイズメンはワイズ運動において常に極めて献身的な役割を果たされ、その業績は際立っています。西日本区岩本悟理事の指導の下で日本のワイズ運動が引き続き実り豊かな成果を残されることを心より願っています。

私は 2016-2017 年度のアジア地域会長の職を奉じるにあたって、主題として「ワイズ運動を尊重しよう」を選びました。ポール・ウィリアム・アレキサンダー司法官がワイズメンズクラブを創設した当初、彼はワイズメンの組織を奉仕クラブとして定義しましたが、YMCA 内においてもそれが我々の遵守する特徴の一つでした。私のスローガンは「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」です。ワイズメンズクラブに入会すると家族、友情、責任について学びます。真の学びはより大きな責任について理解し実行することで生まれます。その結果としてあなたの行動に質的变化が起こり、人生の新しいビジョンを得る為の希望と情熱が生まれます。

私のミッションの第一は会員数の維持と新クラブの設立です。第二のミッションは全国のワイズメンに「自然災害緊急救済基金」「ロールバック・マラリア」「2022 年に向けて」などのミッションを支援するよう奨励します。

日本のワイズ運動が素晴らしい成果を上げることを繰り返して心より願っております。

ワイズの心を込めて 敬具

〔注〕「アジア地域会長」は7月中旬(原稿受理)時点の肩書。アジア地域と南太平洋地域の統合により、8月からは「アジア太平洋地域会長」となります。



今期の西日本区に注目

国際書記長 西村 隆夫
(東京センテナール)

2016-17 年度がすでにスタートしていますが、この区報を読まれるころには台北での第 72 回国際大会が閉幕している頃かと思います。

今期の岩本悟西日本区理事の主題には勇気づけられます。それはワイズ魂という言葉を含んでいるからだけでなく、ワイズの原点は奉仕活動であり、YMCAとの協働を含む地域活動の現場であり、それを欠かせば国際事業への支援もなりたないからです。

今回の熊本地震におきまして、全国のYMCAとワイズ

ズが地元での支援・奉仕活動を展開されている事は、ワイズ魂をかかげて行動に移せる西日本区のリーダーとメンバーの賜物だと確信しております。YMCAというパートナーを持つ、世界でもまれな国際奉仕クラブは、お互いが例会やプログラムを通じてそのスピリット(魂)を感じながら、地域のニーズに対応できる事業にとりくむならば、我々の仲間はずや増えると思います。

国際議会も、若手議員を2名ふくむ 15 名と6名の国際議員を削減し、効率化を進めています。国際本部もこの夏から効率化と費用削減の為にチェンマイYMCAにサテライト事務所を開設します。今後、アジア太平洋地域のニューエリアとして、区・部の運営の効率化と機能向上を重視していく必要があります。

今期の西日本区に注目したいと思います。

ワイズリー

東日本区理事から



西日本区の「ワイズ魂」に期待

東日本区理事 利根川 恵子
(川越)

西日本区のみなさま、こんにちは。東日本区理事としてごあいさつできることを大変光栄に存じます。

まず熊本地震で被災されたみなさまに心からのお見舞いを申し上げます。また迅速かつ精力的に支援活動に取り組まれている、西日本区ワイズのみなさまの「ワイズ魂」に称賛と深甚の敬意を表します。どうか、一日も早い復興がなりますようにお祈りする次第です。

さて、東西日本区において、会員増強、クラブのエクステンションが喫緊の課題となっております。岩本悟西日本区理事(熊本にし)は主題を「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を」と掲げ、副題を「定例会の充実と 活発な奉仕活動でメンバー倍増!」として取り組んでおられます。そのために、一つの方策として、特別委員会を立ち上げ目標達成を目指すとして伺っております。東日本区でも、部の活性化や YMCA との協力関係の強化などを通して、何とか 1,000 名の大台に会員数をのせようと日々努

力しているところです。

くしくも、今年は東西日本区に分かれて 20 周年の記念の年となります。また国際レベルでは、南太平洋地域がオーストラリア地区となってアジア地域に合流し、来る 8月4日には「アジア太平洋地域」が誕生いたします。このようなワイズダムの歴史上一つの節目の年に、岩本理事ともども日本のワイズを東ね、ともに今後の発展を模索する機会を与えられましたことに、責任の重さを感じております。

と同時に、2017 年 2 月4日(土)～5日(日)に東山荘で開催される予定の「第2回東西日本区交流会」は、日本中のワイズメンズクラブに連なる人々が一堂に会し、今までのワイズダム、これからのワイズダムを真剣に考えるまたとない機会となることと存じます。この時こそ、どうか西日本区の「ワイズ魂」をもって、東日本区に多大な刺激を与えていただきますように期待しております。

いずれにいたしましても、東西日本区のワイズがともに支え合い、知恵と経験を分かち合って、日本のワイズダムの発展に一つなりともマイルストーンを築く年となりますように、西日本区のみなさまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

日本 YMCA 同盟から



『ポジティブネット』のある 豊かな社会を創る

日本YMCA同盟総主事 島田 茂
(東京サンライズ)

日頃、ユース育成、東山荘 100 年募金、東日本大震災募金、そして、熊本地震のYMCA被災者支援募金にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、6月に開催された第5回同盟協議会では、中期計画の目玉となるブランディングを進めるための「YMCAブランドコンセプト」が発表されました。このコンセプトは、全国の若手スタッフで構成されているブランディング広報戦略タスクチームがブランディング専門会社「グラムコ」との協働で作成し、全国YMCA 1 万 1 千人以上のイメージ調査、4,000 人の外部調査、そして、トップインタビュー、企業調査、全国YMCAで開催されたワークショップを経て、協議を重ね作成されました。決定したYMCAブランドコンセプトは、YMCAの理念や姿を顧客視点に立ち未来志向で表現したものです。発表されたYMCAブランドコンセプトは、以下のとおりです。

私たち日本のYMCAは、「したい何かがみつき、誰かとつながる。私がよく、かけがえのない場所。」を提供し、「互いを認め合い、高め合う、『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る。」ことを目標とする、「心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。」ブランドです。

今後、全国 3 か所でこのコンセプトが発表され、これに基づいて、スローガン、ブランドを可視化するVIデザイン、そして、ブランドガイドラインが作成されます。

この計画を実現し、同時に、日本YMCA同盟の重点課題である震災支援・国際協力・ユースファンド・東山荘再開発などの活動を継続するためには、ワイズの方々のご協力が不可欠です。新たな一年間も岩本悟西日本区理事を中心とする新キャビネットのリーダーシップのもと、ワイズとYMCAとの強い連帯によって次世代を担う青少年の全人的な育成のために皆様の更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



熊本に寄り添う 1 年に

日本 YMCA 同盟連絡主事
有田 征彦

2016 年 4 月より前任の山根一毅にかわり西日本区連絡主事を担当させていただく事となりました、日本YMCA同盟スタッフの有田征彦(ありた ゆきひこ)と申します。

ワイズメンズクラブ西日本区の皆様の日頃からのご支援、そして協働によって、YMCAの多くの働きがより大きな力を社会で発揮できていることに、心より感謝いたします。普段は、東京の日本YMCA同盟の事務所で仕事をしていますので、役員の方々をはじめ皆様にはなかなかお会いするチャンスがないのですが、共にYMCA運動に取り組む一員として、西日本区のYMCAを代表して今後のワイズとYMCAの協働について連絡主事としての役割を担っていければと思います。これからの1年、よろしくお願いいたします。

さて、私が日本YMCA同盟に席を置くこととなった4月まもなく、熊本地震が発生いたしました。熊本YMCAの14の拠点は建物の損壊やライフラインに大きな被害を受け、スタッフの約半数が被災しました。それに加え、熊本YMCAが指定管理を受け運営していた益城町総合体育館、御船町スポーツセンターは避難所となり、熊本YMCAは明確な契約もないまま避難所運営を強いられる事になりました。YMCAは、阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験から災害時の様々なノウハウを持っていましたが、大規模避難所運営は初めての経験でした。そんな熊本YMCAの窮地を救ったのは、余震が続く中、駆け付けた全国のYMCAの支援スタッフとワイズメンズクラブの皆さんでした。

地震発生から私は、その役割上、東京・四ツ谷の日本YMCA同盟事務所に、全国YMCAからの派遣スタッフの調整や現地の状況の情報収集、支援物資の調達・運搬などの後方支援に奔走していました。その中で、現地の情報や写真などからワイズメンズクラブの皆様の献身的なお働きやお支えを毎日のように目にしてきました。時にはYMCAの会館で、時には益城避難所で、そ

して時には阿蘇YMCAで。苦しい中でも笑顔で前を向いて奔走される、そのご活動やお支えに涙の出る想いでした。

しかし、時間の経過につれ、その報道は日ごとに減り、ボランティアの数もゴールデンウィークをピークに減少しています。避難所からは行政のスタッフも撤退を始める中、YMCAの活動は益々その重要性を増しています。私たちは、長期化する支援活動の中で、決して風化をさせないで今後も活動してまいります。

2016-2017 年度の西日本区理事が熊本にシクラブの岩

本 悟ワイズであることも、何か運命めいたものを感じてしまいます。この1年、岩本理事のリーダーシップのもと、ワイズとYMCAの協働の力と繋がりを更に深いものとして、常に熊本に心を寄り添わせて行きたいと思います。「ワイズ魂」で、地域社会を元気に明るく豊かにしていきましょう!という岩本理事の方針に沿って、YMCAも「魂（愛と奉仕の精神）」で地域社会をより良いものにできるようワイズと共に歩んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

事業主任の活動方針



愛と奉仕の精神を 全てのユースへ!

Y サ・ユース事業主任 堤 弘雄
(熊本)

今回の熊本地震では皆様からお祈りと多くのご支援をいただきました。

被災者支援では、熊本YMCAは避難所の運営やボランティアのコーディネート等に関して、まさに愛と奉仕の業の実践でありました。その熊本YMCAを全国のワイズが支えるという、ある意味で「YMCAサービス」が実践されているように思います。そして、各地から支援活動に派遣されたユースが愛と奉仕の精神を学ぶ機会となりました。感謝いたします。

さて、今期の事業主任の主題「愛と奉仕の精神を全てのユースへ!」をスローガンとして、次の2つの方針を挙げさせていただきました。

(1) YMCAの働きを支えましょう!

世界や日本の中で、紛争や災害、貧困、暴力、家庭環境などにより支援を必要とする人々や弱められた人々に、愛と奉仕の精神をもって仕えていくYMCAの働きをご一緒に支えて参りましょう!

(2) ユースを育てましょう!

ワイズやYMCAの活動にユースを参加させることを通して愛と奉仕の精神を学ぶ機会を提供しましょう! また、国内外の国際プログラムに参加する機会を提供することにより、国境を越えても友情が存在することをできる限り多くのユースに体験的に学んで欲しいと

思います。平和を創り出すこと、人を育てることに力を注ぎましょう!

皆様のYMCAサービスユース献金(1人当たり2,000円)は、次のような明日を担う人材育成に活用されます! このファンドを皆様もご活用ください!

- ・クラブ・部とYMCAの協働プログラム
- ・ユース事業の継続支援
- YMCA同盟や各地のYMCAで計画されるユース育成プログラム
- ・国際ASFへの献金
- ・西日本区と日本YMCA同盟のYMCAサービス関連協働プログラム
- ・区の行事として実施されるYY(Y)フォーラム
- ・ユースコンボケーションへの参加支援
- ・アジア地域のユースとの交流と連携を図り、支援を必要とする人々と出会うためのユースの海外・国内派遣助成

開催されました!

西中国部YYフォーラム(7月2日・広島YMCA)

2016-2017 年度西中国部の第1回評議会、EMCシンポジウムと同時にYYフォーラムが開催されました。



テーマは「ワイズとYMCAの魅力とは」「ワイズとYMCAとの関わり」でした。

瀬戸山陰部YMCAサービス・ユース事業

(7月9日・姫路YMCA)

リーダーと共に姫路YMCA太子教育キャンプ場を整備しました。



自ら機会を創り出し、 機会によって自らを変えよう

地域奉仕・環境事業主任
福島 貴志
(熊本スピリット)

コリント人への手紙第二 9章6～7節には次のみことばが書かれています。

「少しだけ蒔く者は、少しだけ刈り取り、豊かに蒔く者は、豊かに刈り取ります。ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます。」

ワイズメンズクラブの地域奉仕・環境事業においては、CS献金、TOF献金、FF献金、ロールバックマラリア献金を行っています。国際憲法第2条 綱領と目的の第1項には、「イエス・キリストの教えに基づき、相互理解と敬愛の思いに結ばれて」・・・とあります。まさに献金は、一人のワイズメンとして、社会貢献、地域貢献に取り組んでいく一つの教えではないかと思います。

私たちが、諸先輩から受け継いできた「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」(国際憲法第1条)という精神は、この献金の目標を一人一人が達成に向けて取り組む事からはじまるかもしれません。無理をせず、「少しだけ蒔く者は、少しだけ刈り取り、豊かに蒔く者

は、豊かに刈り取ります。」だと思います。この1年間の目標として、毎月、少しずつ、献金に取り組んで頂ければと思います。

使徒 20 章 35 節に「受けるよりも与えるほうが幸いである」とあります。私たちは、ワイズメンズクラブ国際協会という団体と巡り合う事で、このような生き方(ワイズライフ)を味わい、幸せを味わう事の楽しさをたくさんのワイズメンと一緒に喜ぶことができます。共に、この喜びを分かち合いましょう。

さて、4月14日、16日に起きた熊本地震から7月で3か月の月日が経ちました。未だ4,000名を超える方々が避難所生活を強いられています。その多くの方は高齢者であり、障がい者です。益城町体育館避難所、御船町スポーツセンター避難所は、熊本YMCAが体育館の指定管理を受けており、現場で避難所の方々に寄り添う活動を行っています。

そのような中、いち早く支援に動いて頂きましたワイズメンズクラブの活動に感謝申し上げます。避難所から仮設住宅へ今後移行していく中で、まだまだ、多くの支援活動が必要です。今期の活動に、各クラブにおいて、熊本地震復興支援活動についてご検討頂ければと思います。そして、継続して支援を行っている東日本大震災復興支援活動についても一緒に取り組んでいきましょう。

そして、2022年のワイズ100年に向けて、各クラブの地域奉仕を見直す機会を持って頂きたいと思います。事業を評価し、更に効果のある活動について考える機会を2022年に向けて共に考える事ができればと思います。また、時代の変革と共に新しい事業への挑戦を、クラブ内で協議しておられるクラブもあると思います。是非、部、西日本区全体で共有して頂き、CS事業として、CS基金を使って頂く事でその活動が大きく広がればと感じている次第です。

どうぞ、1年間よろしくお願いします。



ワイズ魂でメンバー増強！

EMC 事業主任 **山藤 哉**
(京都グローバル)

今期EMC事業主任をお引き受けする事になりました京都グローバルクラブ山藤哉(さんとう はじめ)です。1年間どうぞよろしくお願い致します。

今期の事業主題は「ワイズ魂でメンバー増強! 行動するのは今!!」と致しました。岩本悟西日本区理事が掲げておられる「愛と奉仕の精神」=ワイズ魂でメンバー増強としました。そして3年後・5年後・10年後に各クラブがどの様になっているのか、又、どの様になりたいのかをメンバー1人1人が考えてクラブ設計をして頂きたいと思い、行動するのは今!! と続けました。

事業方針

①EMC事業活動を継続的・長期的に蓄積していく為の活動を推進する。

2022年のワイズ100周年に向けて目標を持って各クラブ、又各部に合った計画を行い、長期的に継続活動する様考えます。2022年に西日本区で100クラブ、メンバー2,022人にしようという目標です。後6年です。

②100%出席を目指し魅力ある充実した例会運営を図る。

メンバー間での多彩な親睦が図れ、満足できる楽しく充実した例会を行う。ゲスト・ビジターが多数参加できる例会作りを行う。

クラブによって呼び方はかわりますが(2V例会やプラスワン例会、オープン例会)、やはり活気溢れる例会作りを行い、ゲストに多数参加してもらう工夫を考えてはどうでしょう? クラブ間で合同例会等を行うとか、同好会活動にゲストを誘うとか、各クラブに合った例会を考えて下さい。

③入会候補者への事前オリエンテーションおよび入会歴の浅いメンバーへのオリエンテーションの実施。

ワイズ及びクラブの魅力・楽しさ・活動等を理解して頂き新しいメンバーの成長と親睦を図り、新しいメンバー候補を誘ってもらえる様にする。楽しさ・魅力・活動が分かれば新しいメンバーもゲスト等を誘えると思います。

④青年会員の獲得増強。

やはり若い力が大切だと思います。事業計画にもありますが、ユース・リーダー・YMCAスタッフ等からの誘致、紹介をしてもらう。そして、コメント達へのアプローチなどを行い、例会に参加してもらい、意見やアドバイス等を受け、いかにすれば若いメンバーに楽しんでもらえるか、入会してもらえるかということを考えてみてはどうでしょう?

⑤各クラブ・各部が高い目標を掲げ達成できるよう意識

する。

目標は来年度期首200名増強と新クラブ設立5クラブ。エクステンションはもう既に京都部の舞鶴で6月19日に設立総会も終わっています。後は9月11日のチャーターナイトを残すのみです。又、各部長さんの活動計画を拝見してもメンバー増強・退会防止をうたっておられます。決して無理な数字では無いと思います。岩本理事もおっしゃっています。鐘は大きく叩かないと大きく響きません。目標も高く掲げましょう! 高い目標によって意識改革が起こります。夢は大きく目標高くで頑張ってください。

事業計画

①各部のEMC推進チームと協力しEMCシンポジウムなどの開催。

各部でシンポジウム又クラブオリエンテーションを是非実施して下さい。

②クラブ内のメンバー及びメンバー候補者等との親睦等の推進。

クラブ内で同好会等を作ってみてはどうでしょう? グルメ・ゴルフ・野球・カラオケ・将棋等です。そういう同好会等で多数のメンバーと活動し親睦を深めていく事で又違った考え、意見も出てきて自己研鑽に繋がるのでは無いでしょうか? きっと、又新しいメンバー候補を増やしてくれると思います。

③ユース(リーダー)・YMCAスタッフ等からのワイズの誘致の推進。

YMCAスタッフ、生徒の父兄へのアプローチ、又、ユース・リーダー・OB・OGへのアプローチ等、ワイズの危機を感じて頂いて、ワイズ有ってのYMCA、YMCA有ってのワイズと言う様に、ウイン・ウインで考えて頂ければと思います。そうすることで絆は更に強く太くなると思います。

最後になりますが、メンバー1人1人がEMCについて、「超変革」とは言いませんが、「ちょこっと変革」して頂けることで何かが変わると思います。今一度考えて見てはどうでしょう? 皆様のご協力をよろしくお願い致します。



Let's ~ サー、やりましょう！

国際・交流事業主任 森田 美都子
(京都パレス)

かつて外資系トラベルエージェントに勤務していた私は、「世界に国境はなし。ワールドワイドな世界観を常に追って行く人生はいずこに!」とは少しカッコよく言い過ぎで、実はただの国外逃避&海外旅行大好き人間に他なりませんでした。

約16年前にY'sメンズクラブに入会した時から、数ある事業の中で強く魅かれたのが交流事業委員会でした。こんなにも国内外問わずワイズメンと呼ばれる仲間と目的を一にしながら楽しい交流が味わえる組織に参加できたことが嬉しくて楽しくて、時・所構わず交流事業大傾倒派を自負する、ご満悦メンバーの一人でした。

そして、西日本区20周年の節目にあたる今期に際し、僭越ながら国際・交流事業主任を拝命した私が、今までのただ楽しむだけの存在を戒められ、この大役への一抔の不安と迫りくる緊張を強く感じながら、このペンをとっている次第です。

「Y'sあまたの役員はその役職を精一杯勉強努力し邁進すべき。出来ざる者はその役になんら値せずと考え行動せよ!」

これは、期のはじめに「役を受けるべきでしょうか」と助言を仰いだ大先輩からの叱咤激励文言洗礼です。厳しい言葉ではありますが、役職に就かせていただく者としてしっかりと胸に刻み、精進する所存です。

昨年、16年ぶりに開催された「第26回アジア地域大会」の実行委員長を不肖私が司った経験からか、「ダイジョウブでしょ」などと軽口で言い放たれる部分とは大違い、全く別バージョンのビジョン、方針、行動計画と幅広く西日本区の1年間にわたる事業として、また次世代への橋渡しとして、これからは真摯に取り組んで行かなければなりません。

掲げたテーマは次のとおりです。

“Let's Feel the World, Let's Connect the World, through Y'sly Fellowship!”

ワイズ活動を通じてもっと世界と繋がりましょう! もっと世界を感じましょう!

The International Association of Y's Men's Club
我々は国際協会の一員です。

「もううちのクラブはこれ以上IBCやDBCなどにつき合いを広める必要はない」「仲良しクラブは心地よい。言葉や習慣の違いに神経つかっても……」とか、触れてもいない、握手もしていない、交流する以前にシャットアウトするのはやめましょう。もったいないです。素晴らしい交流がY'sの醍醐味です。

今期の活動計画の一つに「お見合いコーナー」をWeb上に常置します。よりIBC・DBC仲間が見つかりやすくなります。覗いてください。ちょっとノックしてください。いつでもお手伝いの準備はできています。期初には「台湾国際大会」が開催され、交流活動は無限に広がることを期待しています。

また、今期のトピックスとして、日本区が東西に分かれて20年目であり、2017年2月4～5日にかけて「第2回東西日本区交流会」が大々的に繰り上げられることが決定しています。日本の真ん中に位置し、新しくなったY MCA国際青少年センター東山荘で、日本が誇る世界遺産Mt. 富士をバックに、大いに日本中のメンバーが交流を満喫しましょう。是非こぞってご参加ください。

これまでのファンド事業と交流事業を吸収合体させた上に国際の文字がつく変革が行われ、「国際・交流事業委員会」の命名をうけて今期で3期目です。まだまだ確立途上である点も鑑みつつ「BF・EF」などファンド事業への深い理解を得るよう殊更の勉強もかさねて、川本龍資元事業主任、中井信一直前事業主任を含む諸先輩のアドバイスを取り入れながら、事業計画を推し進めていく所存です。

西日本区定款第2条 目的・モットーには「区内各クラブが国際憲法の精神に基づき、(中略)力を合わせ国際協会の綱領と目的の達成を目指すとともに、この運動を広く西日本区内に拡張するために協力することにある。」「各クラブの協調を図り、研鑽する機会を提供するとともに、(中略)国際協会の各組織と協力することによって、よりよい世界の実現のために努力する。」とあります。

こういったワイズスピリットを次の世代へ伝えるべく、区の情報伝達活動を通じて区・部内、各クラブの活動に益するとともに、その活動を側面から励ます熱意あるファン応援団として協力一致体制で臨んでいけたらと強く願います。

掲げたテーマの如く“もっと触れ合い、もっと感じ合い”ワイズ交流を楽しんでいく1年になるよう、なにとぞ皆様のご協力を伏してお願い申し上げます。



前に向かって!! 一緒に進もう仲間とともに! 自分のペースで始めてみよう!

メネット事業主任 亀浦 尚子
(熊本にし)

見出しに掲げた主題のもと、フリースクール「えすぺらんさ」の子供達に思いを馳せながら、事業を練っているところに熊本地震が発生しました。火災も津波も原発被害も起こりませんでした。まるで地の中を這い廻る生き物がいる様に余震が続きました。心も体も固まり疲れ果ててしまいました。絶えず体が揺れている状態でした。

それでも、人は慣れてくるものです。悲惨な熊本の現状を知るにつけ、今自分に出来る事、求められている事に、熊本の皆さんはお互いに働きはじめました。

ワイズの仲間たちから「大丈夫!」「頑張れ!」と励ましのメールや電話を沢山いただきました。フェイスブックでもYMCA・ワイズの皆様の支援活動が知らされ元気付けられました。

東日本区・西日本区のワイズの皆様、YMCAの皆様本当に有難う御座いました。今、熊本YMCAとワイズの仲間たちは懸命に熊本を支えています。

仲間はいいものです!! つくづくこの震災であらためて感じました。本当に有難う御座いました。

事業方針

ワイズは家族で参加できるボランティア団体です。先ずは新しいメネットの皆様と出会う機会を得るために、ワイズメンズクラブ入会式には、メネット会の有る、無しにかかわらず是非ご夫婦で出席して頂きますよう、各クラブ会長の皆様、お声掛けをお願い致します。ファミリーでの活動と呼びかけ広めたいと思います。入会式での

出合いを大切にして、メン・メネット・ワイズファミリーを増やしましょう。

国内プロジェクト事業

フリースクール 箱崎自由学舎「えすぺらんさ」を支援いたします。不登校「まさか、うちの子が…。」は全国で小・中学生 12 万人を越えており、“特別なこと”ではなくなっています。不登校、ひきこもり、家庭の事情、虐めなどで学校に行けなくなった悩みを抱える子供達の居場所が「えすぺらんさ」です。発足して 11 年目になります。今、子供達をとりまいてる状況について小田哲也代表からお話を聴き、YMCAの理念である青少年育成に基づき、“メネットの母なる心”“メンの父なる心”を持ってワイズメン・メネットの皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

目標金額は 150 万円です。

その支援内容は、①福岡YMCAフリースクールプログラムに参加する費用の支援、②箱崎自由学舎(えすぺらんさ)環境整備の支援、です。達成できますよう、皆様のご協力を願い申し上げます。

国際プロジェクト(未定)

メネット事業ファンド

熊本地震を経験し“備えあれば憂い無し”のテーマにしました。

- *ご飯の友セット…ふりかけの元祖。白いご飯、おにぎりにかけて食べてください。おかずはいりません。
- *太平燕とご飯の友セット…お湯を入れれば美味しいはるさめスープになります。
- *障がい者施設の手作り製品…携帯・メモ入れポシェット・藍染製品・ビーズ製品などを部会にて販売させていただきます。

表紙デザインについて

岩本 悟理事(熊本にし)は、熊本地震復興の真ただ中での就任です。西日本区のワイズは一人ひとりが今後、東北等を含む被災地の復興を支援し、ボランティア活動を通して明るい未来に向かって歩みたい……との思いでしょう。そこで、被災した熊本城、熊本YMCAがボランティアで活躍する益城町体育館、東日本大震災のシンボル「一本松」、そして光が明ける空を配してデザインしました。

サブタイトルを入れた下部の帯は、今までは一色でしたが、今回は、それぞれの個性を活かしながらご活動いただきたいと、敢えて「虹」をイメージして色づけしました。

(藏知 武編集委員)

部 長 メ ッ セ ー ジ



出会い、ふれあい、 響きあい、前へ進もう

中部部長 川口 恵
(名古屋)

1.部長主題 出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう
副題 ワイズライフを楽しもう

2.活動方針

- ・ ワイズの活動は、発見・感動・出会い・自己研鑽の場です。各事業への参加、例会、交流を通して、楽しみをより多くの人と分かち合おう。
- ・ 中部の未来を考え、それぞれが今できることをしよう。
- ・ ワイズ行事の情報共有の推進と広報。

3.活動計画

Yサ・ユース事業

YMCA とユースに対する理解を深めよう。

YYY フォーラム。

チャリティーラン等 YMCA 活動の支援。

地域奉仕・環境事業

各クラブでの事業を通して、地域への奉仕を進めよう。芋ほり、地域でのコンサート等の広報・支援・参加。

EMC 事業

EMC シンポジウムを通して、EMC 事業主任と中部の未来を考えよう。定例会を大切にしよう。(例会は出会い・自己研鑽の場)

国際・交流事業

国際大会・区大会・部会・他クラブ例会に参加し、出会い、ワイズの輪を広げよう。IBC・DBC との交流の推進。

メネット事業

メネット事業への理解を深め支援しよう。

メネットアワーの支援。

前期の荒川恭次部長は「踏み出そう、次の一步のための今の一步を」と題して、荒川部長と名古屋グランパスクラブと一体で全国リーダー研修会、名古屋南山クラブと神沢でのファミリーコンサート、リーダーの卒業を祝う会、東北支援ツアーなど素晴らしい活動をされ、リーダーとの距離も縮まりました。他クラブでも、クラブの

持ち味を生かした温かくて楽しい活動ができ、全体として活気があり、何歩も進んだように思います。

中部では、2000 年の 201 人のメンバー数が、2004 年には 150 人を、2015 年には 100 人を下回りました。サポートすべき YMCA の縮小が続いていることもワイズメンバー減少の一因と考えます。今年も 97 人と、100 人を切ってスタートしますが、出会いを大切にし、YMCA をサポートしつつ、各クラブの持ち味を生かし、時には他クラブの仲間と協働の活動を楽しみながら、前へ進んでいきたいと思っています。

部長の責務には西日本区と部内の各クラブをつなぐ役目があります。

「部長通信」1 号にて主な年間行事案内をしております。今後も毎月の「部長通信」で中部、西日本区、他の部の情報を積極的に提供します。中部内・中部外で周年行事やいい企画があればご連絡ください。

1 年間よろしくお願いいたします。



ワイズメンズクラブと親父

びわこ部部長 宮本 年博
(彦根)

ワイズメンズクラブを初めて知ったのは高校生の頃でした。父が彦根ワイズメンズクラブで活動していることを知り、生意気盛りの高校生だった私は「ワイズメンズクラブって賢い人の集まり?」と父に聞いたことがありました。そのとき、父は静かに微笑むだけで何も答えてくれませんでした。

大正8年生まれの父は、戦時中は陸軍航空隊操縦士でしたが、終戦の頃は埼玉県熊谷陸軍飛行学校教官として、多くの航空少年兵に離陸方法だけ教え、特攻作戦に送り出した当時の事を悔やみ、戦後は肺結核を患い、近江サナトリウム(現:ヴォーリズ記念病院)へ入院を繰り返していました。

入院していた頃キリスト教に出会って受洗し、キリスト者として第二の人生を歩むとともに、家業の傍ら、ワイズメンズ活動に生きがいを見いだしていたのだと思い

ます。そんな父は、67歳で他界するまで、息子の私から見ても非常に熱心でひたむきなワイズメンでした。

私も小学校時代から日本基督教団彦根教会日曜礼拝に通わされ、聖書や讃美歌には親しんでいましたが、遊びたい盛りの小学生にとって日曜礼拝は苦痛で、しょっちゅうサボったりした、とてもいい加減なクリスチャンもどきではありました。

その後、社会人になった私は、吉田工業(株)→現YKKに入社、レバノン、ギリシャ、大阪、四国、京都勤務を経て、60歳で一旦定年退職、現在は同社系列のYKKAP彦根営業所フルタイムエルダー勤務4年目です。

これまで各地を転勤し、ようやく故郷彦根に帰ってきた2009年に、彦根ワイズメンズクラブの諸川屯ワイズに「お父上もワイズメンだったので、是非入会を」と誘われ、彦根ワイズメンズクラブに入会させて頂きました。

その後、2012-13年度に地域奉仕・環境事業主査、2014-15年度に第64代会長などを経験させて頂きました。そして今年度、びわこ部部長を拝命、部長主題「原点回帰 YMCAと共に」を掲げ、活性化に取り組んでいます。ロースター見開きにある最初の「目的」の「1.まず第一にYMCAのためのサービスクラブとして活動する。」と記載されているのを引用させていただき、原点に今年度立ち返ることを部長主題とさせて頂きました。

思えば、所属する彦根ワイズメンズクラブのチャーターは1952年10月13日、私の生まれた年と同じです。ワイズメンズクラブへとお導き頂いたのも神様の思し召しではと、運命的なものを感じています。

びわこ部は、かつての7クラブ200名近くの陣容が、現在6クラブ110名と、退潮傾向です。EMC活動、会員増強が喫緊の課題であることは明白です。

そのために、楽しい例会を通して「魅力あるワイズメンズクラブに入会したい」と思ってもらえる方を一人でも多くゲストとしてお迎えし、入会を勧め、魅力と活力溢れるびわこ部になるよう、微力ながら尽力したく存じます。

さて、10月8日(土)には、琵琶湖の豪華客船「ビアンカ」船上での楽しいびわこ部部会も企画しています。多数の皆様のご参加・ご登録をお願いいたしますと同時に、西日本区ワイズメン各位の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。



未来に向けて

京都部部长 廣井 武司
(京都プリンス)

今期の部長主題を決める時、私は今の時代において一番心にひっかかっていることをテーマに取り組みたいと思い、「**子供たちの未来のために さあ始めよう、ワイズの叡智と行動で**」としました。

今の社会、子供たちの目にはどう映っているのでしょうか。健康や衛生面では先進国日本の子供たち(若者)は心配ありませんが、その子供たちの周囲の環境はどうなのでしょう。

子供の貧困のこと、父子家庭、母子家庭の増加など決していい状態ではありません。およそ考えもつかない事件・事故に巻き込まれる子供たちも多く存在します。それらの多くの問題が大人の自己中心的な考えから発生していることは悲しむべきことであり、将来に不安を感じさせます。

その結果、本来なら純粋で無垢なはずの子供が最近、加害者側になっている恐ろしい現実が少なからず生まれてきています。貧困の虜になっている子供や若者たちのために私たちはどう関われるのか、悩むところですが、YMCAとともに青少年の健全育成を願うワイズメンにとっては、けっして無視できない問題なのです。

「世界は子供たちを守り、子供たちの成長に投資することを学ぶまでは、世界が抱えている主要な諸問題を解決することはできないでしょう」と昔聞いたことを思い出します。

さあ始めてみましょう。YMCAに集う子供たちがユースリーダーとの交流の中で、憧れを感じ、将来のリーダー候補生に育つように協力しましょう。

YMCAの展開しているさまざまな事業のアピールをより積極的に展開できないか、ワイズメンとして、クラブとしてYMCAに参画しましょう。ボランティアリーダーの募集についても、ワイズメンの人脈と幅広い社会活動をいかしてみたいかがですか。

クラブでの地域奉仕活動とYMCAのプログラムのジョイントも検討の価値はあると思います。

こうして、よりたくさんの子供たちとユースリーダーとの交わりは、良き未来のための大切な礎となるでしょう。

問題点は、この素晴らしいワイズの将来のために、新しい指導者となるべき資質を持ったユースリーダーたちがワイズをどうとらえているかということです。「親父の背中を見て、子は育つ」ではありませんが、ワイズの背中を見て若者たちはどう感じているのでしょうか。

今期は特にワイズとユースリーダーとの交流を深めていただくようお願いをしています。例会に招いて若者の本音を聞き出してください。新しい世代の声を聞くフォーラムを提供して、そこで出た約束事を私たちはしっかり守りましょう。そうすることでお互いに信頼関係が築けて、未来のワイズメンが育ってくれることでしょう。

何も京都の地で花咲くことはありません。日本各地や世界、彼らの生活の場所でワイズを思い出し、その土地で地域社会のリーダーとして育ってくればいいのです。

子供たち、ユースリーダー、ワイズメンが一つの線になれば、その先に一筋の光が見えてくるように思います。

ワイズとYMCAの交流をより深めつつ、他の実業界や地域社会の指導者の人たち、若い人たちの活動するグループの人々と「未来会議」など企画できれば、そこでまた新しい目標ができるかもしれません。

今期は京都部のメンバーと大いに語り合い、未来のために奉仕したいと願っています。



虹の架け橋

阪和部部長 生駒 義範
(和歌山紀の川)

第20期岩本 悟西日本区理事のもと、汽笛を鳴らせ各地域から一斉に出港しました。西日本区の司令塔のもと、各部は様々な希望や期待を載せた船出です。海は世界に通じている。

私は、歴代の阪和部長が結束を固めていただいたおかげで主題を「ワイズの種を蒔こう。そして育て・実りの収穫を!」とし、また、より一層の活動を高めるつもりで副題を「活力ある阪和部に躍進しよう」としました。そして、特に岩本理事の方針「extension」を船団に掲げました。現状の荷は重くもあり、困難が付きまとうと思われまふ。嵐にあえば錨を降し、寄港し、再度主題や

副題の羅針盤を見定め、緒兄・姉の意見を聞き再出港する。ワイズの旅は長い航海です。荷が重いからと言って決して荷を捨てることなく、危なくなれば別の船体が寄添い助けてくれるでしょう。仲間とはそう言うものなのです。

この西日本区報第1号では、私は「虹の架け橋」を主題（見出し）にしました。大きな虹は世界また日本国内と橋を架ける。また、部としての小さな虹なら、太陽の光を背に受け、目線より高い位置で霧吹きを発射すれば見られます。目に見える虹はとてもきれいな円弧状の光を放ちます。しかし、その円弧状には高齢化・少子化・Y'sとYMCA等様々な問題を含んでいます。

思いは様々ではあるが、解消するには楽しい例会を催すことが最も基本と考えています。例会時には、伝えることを出来るだけ短時間にし、友と会い・語る、知識を得る、協働の喜びを享受する場としての空間づくりに重点を置いてもらいたい。

7月早々の部長訪問時には2クラブで入会式を行いました。また9月に行われます阪和部部会での入会式も約束されました。新しいメンバーも増えています。7月は私の誕生月でもあり、例会時にはたくさんの人から祝福を受け、とても嬉しい出航でありました。楽しい例会は友と共に楽しめます。特に諸兄・姉・弟の他クラブ訪問時は誕生月をお勧めします。たくさんのメンバーから祝福を受けてください。きっと美しい虹が現れるでしょう。

美しい虹の架け橋にするためには、検討する課題もたくさんあります。阪和部では、歴代の部長様とともに勉強会を行う計画です。阪和部全体を見つめなおし、各クラブの特徴や地域性等を考え、話し合い、将来の阪和部の方向性を見出すための意見交換の場（空間）を設けます。この場には諸兄・姉・弟の参加も自由です。場所や日程は「部長通信」にてお知らせをいたします。チャレンジ!



世界をみつめ、 地域とあゆむ

中西部部長 西野 陽一
(大阪高槻)

「世界をみつめ、地域とあゆむ」。私の部長としての主題です。環境保護運動で使われていた“Think globally, Act locally”という言葉、私たちの運動にも通じるとの思いから日本語に意識したものです。少し長めに書くと「世界のさまざまな問題に思いを馳せながら、日ごろは地道に地域の活動に取り組む」ということです。西日本区定款第2条第3項Cに定められた、クラブの目的の一つである「地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。」にも通じると思っています。

私たちの生活は様々な点で地球上の多くの人々と繋がっています。例えば、我が国は資源や食料の多くを海外からの輸入に頼っています。もし、輸入が絶たれたら私たちの日々の生活は成り立ちません。私たちは紛争、テロ、貧困、人権などの国際的な様々な問題に関心を持たざるを得ません。

そして、私たちの日々の活動は地域と繋がっています。中西部には、大阪高槻クラブや大阪茨木クラブのように、会員の大半がその地域に居住し、地域性の強い活動をしているクラブもありますが、会員の居住地が広く拡散しており、「地域がない」というクラブもあります。しかし、「地域がない」クラブもそれぞれ活動の基盤となる組織や施設があります。「地域」を必ずしも地理的な概念と捉えず、そうした組織や施設を「地域」と考えれば、すべてのクラブに「地域」があります。私たちは日々、地域の問題に一生懸命に取り組んでいます。

中西部は日本で初めてのワイズメンズクラブである「大阪クラブ」を擁する、歴史と伝統のある部です。ある時期までは、日本におけるワイズメン運動をリードしてきたと自負しています。しかしながら、ここ10年の間に、会員数は約30%減少し、2つのクラブがその歴史の幕を閉じました。そして、新たなクラブは20年間誕生していません。9クラブのうち、会員数が20名を超えるクラブは2クラブ、会員数が一桁のクラブも2クラブあります。残念ながら現在の状況にはかつての面影はありません。このままでは、リードするどころか、お荷

物になるのではないかと懸念されます。

私は、リードはせずともお荷物にはならないよう、次の3つの活動方針を挙げています。

- ① 楽しく、そして互いに成長し合える例会。
- ② ワイズメンとしての誇りを実感できる活動。
- ③ 中西部の課題解決に向けての各クラブの連携・協力。

例会が活動の基本であることは当然のことで、楽しい例会であることが必要です。ただ、楽しいだけではなく、自分が成長できる例会が望まれます。そして、一方から他方に与えられるのではなく、互いに成長し合える関係でありたいと思います。そうした例会のためには周到な準備が必要です。「来月の例会はどうしよう」では意義ある例会にはなりません。

現代では様々な団体や組織によって多様なボランティア活動が展開されています。そうした状況の中で、ワイズメンとしての誇りを実感できる活動をしたいと思っています。そのためには、みんなで知恵を出し合って、他の団体や組織にはできない、ワイズメンズクラブならではの活動を創りたいと思います。

部や各クラブの課題の解決には互いに連携・協力して取り組みたいと思います。例えば、いずれのクラブにとっても喫緊の課題である会員増強について、自クラブの新入会員の候補者を発掘することは当然ですが、「居住地や勤務先が遠い」とか「例会の曜日に仕事がある」などの理由で、自クラブへの入会が難しい候補者を積極的に他クラブに紹介することが求められます。自クラブの会員増が一番大切ですが、部として、また西日本区として会員が増加することも私たちの喜びです。

私はワイズ歴は長いものの、これまであまり熱心なメンバーではありませんでした。「部長になりたい」とも、「部長になれる」とも思っていませんでしたが、部長になったからには自分のできる限り精一杯やって、自分自身が成長したいと思っています。そして、部長としての楽しさも感じています。

歴史と伝統を守ることが大切ですが、守りの姿勢ではやがて困難な状況に陥るでしょう。積極的な攻めの姿勢を貫きたいと思います。幸いなことに、会員数はここ数年140名前後で推移し、下げ止まりの状況です。私は、各クラブの活動を大切にしながら、有意義な例会、誇りある活動、そしてクラブ相互の連携・協力によって中西部のいっそうの発展のために微力を尽くしたいと思っています。



我々の足元を着実に

六甲部部長 長井 慎吾
(西宮)

5月に六甲部準備役員会を開催しました。その際に、部長主題の「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ活性化を図ろう」に加え、「我々の足元を着実に」を副題として追加しました。これは、3月の評議会で私の次の部長である次々期部長が決まらなかったことに端を発しています。

六甲部では、部長を8クラブが輪番制で選出します。しかし、私の所属クラブの次と、さらにその次のクラブが様々な事情で部長を輩出できない状況であることが分かりました。

様々な事情とは、まず実働メンバー数の減少です。1つのクラブは会員数12名ですが、例会出席は常時特定の4～5名です。仕事が多忙で出席がままならないメンバーのため、例会日を変更するなど工夫しましたが、効果が得られません。もう一つのクラブは会員数8名で、全員実働メンバーとして活動していますが、健康上の理由で自クラブの運営で精一杯です。それぞれクラブ内で真剣に部長選出について協議をしましたが、クラブとして前向きな結論に至りませんでした。急遽、部役員会に8クラブ会長も加わり対応を協議しました。複数のクラブが協力して部役員を担う案や、輪番を柔軟に変更する案が協議され、結果として、3つ先のクラブが順繰り上がりで担うこととなりました。これまでメンバー数が少ないことや高齢化について漫然と聞いていたため、部内他クラブの体力がここまで落ちていることを初めて認識した次第です。

楽しい交流とは何か？ 対象は、ユースリーダーに代表されるYMCAの方たち、DBCやIBCや近隣のクラブメンバー、地域の同じような奉仕活動をしている団体など様々です。特定のメンバーに偏らないように、特に入会年月の浅いメンバーも楽しめる交流が良いと思います。クラブメンバーのニーズに合っていることも重要です。様々な交流を企画して試行し、継続的なものと次々と新たな出会いがある機会を織り交ぜて新鮮さを維持する必要があるでしょう。

やりがいのある奉仕活動とは何か？ まずは、明確な社会貢献の目的があり、メンバーの共通理解が得られ

ること。次に、共に力を合わせることで連帯感が生まれるような協働作業があること。最後に、参加したメンバーが達成感を共有できるものが良いと思います。この際、時間と労力が適当であり、短時間で上記一連の要素が盛り込まれていることが良いと思います。要は手を広げ過ぎないことだと思います。YMCAが主催する地域奉仕バザーへの参加を例にとると、国際協力募金という明確な目的があります。次に、食事販売や物品販売など、準備から販売、後片付けといった協働作業があります。YMCAのユースリーダーや職員との触れ合いもあり、連帯感が生まれます。最後に、全員が集まり募金の収益が披露され、達成感を共有できます。若者や高齢者を取り巻く問題を例会などで勉強し、自クラブが自慢できるような奉仕活動を見出すことです。

各クラブは生い立ちやメンバーのカラーなど多様な価値観の集団なので、クラブの特性に合った交流や奉仕活動を見出すことが必要です。YMCAの会員増強と育成計画の手法として「メンバーシップ・バイ・デザイン」という取り組みがあります。この計画では3つの関係づくりにより活動会員を育成して行きます。初めてYMCAと出会った時の関係から、継続的なつながりの関係、そして担い手としてのつながりの関係へと発展させます。その関係の中に、会員が育つ6つのステップがあります。

- (1) 会員として登録する。
- (2) 活動に参加して満足感を得る。
- (3) 関係が深まってYMCAを理解する。
- (4) 自分自身が変化して、ボランティア活動等自発的に活動をするようになる。
- (5) 「私のYMCA」と言えるようなオーナーシップを持つようになる。
- (6) 新しい会員を誘うようになる。

ステップ毎に詳細な計画を立て、実行していくことで計画的かつ意図的に会員の養成を図っていきます（横浜YMCAのHPより）。この手法は、ワイズメンズクラブのEMC活動にそのまま適用できます。先に述べた、交流とやりがいのある奉仕活動を用意した上で、クラブのEMC発展を意図したメンバーシップ・バイ・デザインを計画実践していくことが実践的な活動であると考えます。

今期、岩本悟西日本区理事（熊本にし）の目指す各部でのエクステンションは、六甲部にとっては大変ハードルが高いですが、まずは、体力の弱っているクラブ

が健康な状態となるよう共に考え、自らの力で体力を取り戻せるように支えることが六甲部の基礎体力を高めることとなり、エクステンションができるクラブの集まりとなる一步であると確信しています。この視点で8つのクラブを見て回り、特に体力の弱っているクラブに寄り添い、「我々の足元を着実に」を基本に行動していく所存です。



部の再生を図る!

瀬戸山陰部部长 中野 浩
(岡山)

瀬戸山陰部は、10年間でメンバー数が40%も減員し、今期スタート時も64名と、西日本区最少の部になってしまいました。このままでは存続すら危ぶまれます。この現状の危機感を部のメンバー全員に持って頂くことが大切と考え、敢えて「再生」と言う暗いテーマを掲げました。

「再生」を実現するためには、瀬戸山陰部全体で取り組まなくてはなりません。EMC事業主査さん・各クラブ会長さんと緊密な連絡を取りながらEMCの進捗情報を共有し、併せてEMCシンポジウムなどを通して「MC」にも注意を払って行きたいと思います。

また、EMC事業だけではなく、全ての事業が協力し合うことが不可欠と考え、「各事業が一体となって再生を!」を副題としました。各事業の運営・実施において、「再生」と言うテーマを念頭に置くことで事業の活性化を生み出せば、招かれた部外者(入会候補者)からも魅力あるクラブと目に映ることでしょう。少人数のクラブの事業も、他クラブからの参加を求めることで、盛況に繋がるはずです。5つのクラブではなく、1つのクラブとして互いに人材も知恵も提供し合うことが、残された手段と考えます。

例会の充実については語り尽くされていますが、メンバーが楽しく集い、情報を得ることは自己研鑽に役立ちます。「講師探し」の苦勞も聞きますが、手段としてクラブメンバーの講師交換は大いにやるべきでしょう。そうすることで講師料も不要となり、クラブ間の情報交換の絶好のチャンスにもなるはずです。クラブの繁栄は例会にあり、各クラブの繁栄は瀬戸山陰部の再生、ひいては西日本区の繁栄に繋がると思います。

さらに、Yサ・ユース事業をMCに結びつけることは再

生の近道と言えましょう。Yサ事業・YYYフォーラム・YMCA活動などを通して若い人達と語り合う機会を捉え、YMCAの将来を担うべき人材を育てたいと思います。その為にも、YMCAリーダー達との連携を進める協同のプログラムには、ワイズメンは積極的に参加することが大切です。この若者達にワイズメンズクラブに関心を持って貰うことで、スムーズな世代交代も可能になります。

YMCAとの連携については、役員・スタッフ・リーダーに加えて、プログラムの保護者は少なくともワイズメンズクラブの存在は理解してくれており、会員増強のターゲットには最も相応しいと言えます。ところが、YMCAとの関係はクラブごとに大きな違いがあります。瀬戸山陰部にもYMCAの活動拠点が無いクラブもあり、これを手段として部内にアピールするのは難しい現状ではあります。しかし、YMCAはクラブだけのものではなく、部の宝、ワイズメンズクラブ全体の宝と捉えれば、「YMCAの拠点が無いクラブでは何も出来ない」ではなく、他地域に存在する「YMCAをサポートする団体」で事業目標に盛り込めるものと思います。

瀬戸山陰部のメンバーの一人として、部の再生・存続は責務と考え、「何かしなければならぬ」「何かが変わる一年にしたい」と強く願っています。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

47年前に岡山クラブに入会(10年間は域外転勤)し、その間メンバーの一員である誇りと、困難などときには仲間を支えられたこと、生活の一部であるワイズメンズクラブを愛する思いから、何か恩返しが出来ればと、高齢を顧みず部長の大役を引き受けました。そのようなことで、今年度の目標を全てこの主題に込めた次第です。



西中国部100人達成

西中国部部长 佐竹 早苗
(岩国みなみ)

平成28年6月26日、西日本区大会で渡邊悦司西中国部直前部長から部長バッジを引き継ぎました。ステージは、会場席とは異質な場所で、雲の上と言ってもいい感じでした。バッジも、今まで持っていたチャーターバッジ、会長バッジ、直前会長バッジとは違い、今思うと西中国部長の色々な思いが代々引き継がれたものではないかと感じています。重いなあと感じました。でも、綺麗ななあ

とも感じました。1年後にはどんな感じのバッジになっているか、楽しみです。

西中国部は、昨年の7月1日に74名でしたが、今年の7月1日も変わらず74名での始まりです。部長主題は、一昨年度の後田雅伸西中国部部長(岩国)の部長主題「**西中国部 100人達成**」を勝手に受け継ぎました。「岩国クラブ」は、私の所属している岩国みなみクラブの親クラブです。「親」から受けた思いを引き継ごうと考えてのことでした。活気ある部にするためにも「数は力」という言葉をいただきましたので、主題に向けて頑張っていきます。

活動方針は、「西中国部の個々の関わりを大切に、クラブ活動を盛り上げる。情報の発信と共有」にしました。この活動方針を決めたものの、この活動方針の「個々の関わりを大切に」というのは、自分が苦手な「人との関係作り」です。今も日々悩み、考え、うろたえ、落ち込み、喜び、色々もがきながら過ごしているところです。自分から変えないといけないということなのだと思います。

今期は「ロケットスタートを切る」と宣言し、7月2日に第1回評議会、EMC シンポジウム、YY フォーラム、100人委員会を開催しました。山藤哉西日本区 EMC 事業主任、堤弘雄西日本区 YMCA サービス・ユース事業主任、山川新一西日本区次期 YMCA サービス・ユース事業主任をお迎えし、ワイズ 27 名、YMCA 関係者 25 名の参加者でした。内容は、山藤 EMC 事業主任の基調講演「EMC と親睦」、YMCA 職員の中奥岳生氏発表「公益財団法人広島 YMCA の活動紹介」、福山クラブの小松邑司ワイズ発表「ワイズと YMCA の魅力とは」「ワイズと YMCA の関わり」、ワークショップ(グループ討議・発表「ワイズと YMCA の魅力とは」「ワイズと YMCA の関わり」、堤 YMCA サービス・ユース事業主任講評)、100人委員会(各クラブ会長から「今期の会員増強目標宣言」、渡邊直前部長からのエール)、そして懇親会でした。ワイズと YMCA の魅力と関わりを話し合う事で交流を深



めました。確認した事は、YMCA 職員が会員増強に力を貸してくれることにより、ワイズの会員増強があり、それが公益財団法人 YMCA の収入源増となり、ワイズと YMCA の相乗効果となるということです。そして、より交流を深めると共に、YMCA とワイズの協働事業(雲月キャンプ場の整備等)の推進をすることを考えました。各クラブ会長の会員増強宣言の数を足すと 100 人に到達しました。熱い思いを継続し、主題を達成したいと思います。

部報及び毎月の部通信などを通して情報発信もします。1年間を活動方針のとおりすすめたいと思っています。微力ですが、西中国部の皆様と共に活動していきたいと思っていますので、この1年よろしく願いいたします。



いま自分が ワイズで出来ること

九州部部长 宮崎 隆二
(熊本ひがし)

活動方針と計画

今期は当初計画を覆す様なまことに「想定外」の「熊本地震」に見舞われ、スタートから計画の見直しを余儀なくされました。第一の活動方針を「地震災害支援」とし、同時に支援を軸に「九州部としての輪」を広げていくこと、その内容的には当初計画の「チャリティーバトン」の考えで九州部すべてのクラブについて「九州部応援団」として行動していくことです。各クラブの事業支援を通じクラブ活性化を図り「元気のあるクラブ」にしていく、そして「九州の各クラブを一つに結ぶ」ための役割を部として果たす、SO支援を中心に各クラブとの連携をはかり、各県クラブ毎の「行事」「イベント」ならびに「各県YMCA支援」を連携して行っていく、そして正に「九州は一つのクラブ」となるよう行動し、すべてのクラブ間の情報共有、部よりの情報発信を行う。

また「ワイズメンズクラブの基本」である「例会」を大

切にし、常に自由な中にも毅然としたクラブ運営がなされるように支援する。

EMC事業としては、悲願の「九州部会員 300 名の達成」を目指す。目的達成の為今期中の各例会において「一人1人のビジター紹介運動」、クラブ内で「一人1役運動」の推進。自分がワイズでの居場所が無ければ新入会者紹介は難しいので、周りのベテランが「メンター」となり孤立しないように「会員」を支える。

☆九州部合同メネット会 ※ ホテル日航熊本

2016 年9月18日(日曜) 正午～

☆第二回九州部会(評議会) 第35回九州部会

※ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

2016 年10月2日(日曜) 評議会(主査会)・メネッ

トアワー

☆第一回熊本YMCA主催インターナショナルチャリティーラン ※ 熊本県運動公園

2016 年12月18日(日曜)

☆第一回九州部新年賀詞交歓会 ※ 熊本テルサ

2017 年1月7日(土曜)

「九州部チャリティーバトン」の具体的取り組みについて

熊本地震支援募金(出来ることの災害地支援)

福岡中央クラブ「IN チャリティーラン支援」

宮崎クラブ「SO 支援チャリティーゴルフ大会」

鹿児島クラブ「鹿児島 YMCA 支援事業」

長崎クラブ「絵葉書」支援

その他各県クラブ支援

常置・専任・特別委員長からのメッセージ



JWF 献金にご協力を

JWF管理委員長 森本 榮三
(大阪高槻)

高瀬稔彦ワイズ(岩国みなみ)の後を受けて、委員長を拝命いたしました。皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願い致します。

ところで、JWF管理委員会規則は、西日本区発足の2001年4月に改正されてから昨年までに5回の改正が行われ、特に昨年度の役員会では、「目的」「構成」「管理・運用」「支出」についての改正がなされ、「基金の用途」が追加されました。詳細は役員会議事録などでご覧いただくとして、主な改正点を下記します。

第2条(目的)は「本委員会は、西日本区ワイズ基金(Japan West Y's men's Fund 以下「基金」という)の献金を推進し、運用および、適切な基金支出についての判断を行うことを目的とする。」とされました。

条文が追加された第4条(基金の用途)では「基金は、ワイズ発展の重要プロジェクトおよび、緊急事態に対応するために活用される。」とされました。

以下、条を繰り上げ、第5条(構成)では「本委員会は、区書記、区会計をのぞく理事および6名の委員により構

成され、理事をのぞく委員により委員長を互選する。委員は区役員会において選出推薦され、理事が任命する。」「2.委員の選考にあたっては、地域性も考慮して選出されることが望まれる。」とされました。

第8条(管理・運用)では「基金の管理・運用は、確実な金融機関に預け入れ保管する。」とされました。

第9条(支出)については「基金の支出については、区役員会の決定によって検討を依頼された事項を審議し、全委員一致の決議を要する。」とされました。

2015-2016 年度末現在、皆様から寄せられた3,190万円近い献金が西日本区に基金としてございます。

今期委員を務めてくださるのは、森田恵三(京都ウエスト)、岩本 悟(熊本にし)、遠藤通寛(大阪泉北)、高瀬稔彦(岩国みなみ)、松本武彦(大阪西)、橋爪良和(名古屋東海)の皆様です。

ところで、「使わない・使えないJWF基金」というお声をよく耳にしますが、決してそのようなことはございません。私たちJWF管理委員会は、前述しましたように、皆様のお声を区役員会に上げていただき、その決定に基づき全委員で基金支出について審議し決定します。

何卒JWF基金にご理解いただき、「個人として」「クラブとして」献金にご協力賜りますようよろしくお願い致します。



LDが未来のワイズを築く!

ワイズリーダーシップ開発委員長
船木 順司 (京都トップス)

2016-2017 年度岩本悟理事期の始まりに当たり、西日本区ワイズリーダーシップ開発委員会(以下「LD委員会」)は、岩本理事期に於いても西日本区にて役員として活動なされるリーダーの皆様に良きスキルとモチベーションをお持ち頂くために何が出来るのか、フレッシュなLD委員の皆様と議論を重ねてまいりたいと思います。

さて、LD委員会は、区、部、クラブでの次期役員となられる皆様のリーダーシップ研修の企画運営を行い、皆様にリーダーとして良いスタートを切って頂くためのスキルとモチベーションを身に着けて頂く事が一つの大きな目的となっております。

近年の研修会で欠席、遅刻、一日のみ出席の登録が見られますが、参加頂く皆様はクラブ、部、区在籍メンバーの代表であり、リーダーシップを発揮頂かなくては困る方々です。何とか繰り合わせて出席頂きたいと思います。

研修会を企画運営するLD委員は、未来のワイズを担う若手メンバーを中心に構成されており、少しでも良い研修会を行うため精一杯知恵を絞っております。皆様のご協力なくして成り立たない研修会を皆様と有意義に過ごせるよう努めてまいります。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

そして、もう一つの目的は、LD委員会メンバーのリーダーシップ育成です。

次期研修会を通して、今期や次期リーダーの皆様の言動を学び、知識と行動を身に着け知恵とし、LD委員ならではの経験をし、委員所属の部やクラブにその知恵をフィードバックして頂く事も一つの目的です。その延長線上にあるのは、部やクラブの研修会にも関わりを持たせて頂く事です。LD委員会で積み上げたノウハウを部やクラブの皆様にLD委員が自ら提供する事で、LD委員のスキルアップにも繋がって行くと思っております。お手伝い出来る事が沢山あるのではないかと考えておりますので、是非委員会に研修会等のお手伝いをさせて頂ければ幸いです。気軽にお声掛け頂ければと思います。

LD委員会には多くの役割や目的が有ります。お役にたてるよう努めてまいりたいと思いますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

・次期区役員研修会：10月22日(土)～23日(日)

ホテルクライトン新大阪

・次期会長・主査研修会：3月18日(土)～19日(日)

六甲山YMCA

皆さま、ご準備の程宜しくお願い致します。 Y'sly



区ホームページをご活用ください!

広報・情報委員長 伊藤 剛
(京都トゥービー)

今年度より広報・情報委員会の委員長を務めさせて頂きます京都トゥービークラブの伊藤 剛です。

2014 年度に広報事業が情報委員会と統合され、広報・情報委員会となりました。

その名の通り、ワイズメンズクラブの「広報」と「情報発信」を担う委員会であります。

前期、西日本区ホームページに「ワイズの広場」&「ユースの広場」が開設されました。このコーナーは、広くワイズメンズクラブの活動、そしてユースの活動を知って頂くための広報ツールとして開設され、皆様からの情報提供で成り立っています。どしどしご投稿いただき、ご活用いただければと思います。

そして、情報発信の部分では、新たに「交流お見合いコーナー」を開設致します。IBC・DBC締結を計画されているクラブのお見合いページとなります。こちらも是非ご活用ください。

その他の情報もワイズメンバーに向けてできるだけ迅速に、正確な情報を提供してまいります。

広報・情報委員会に対するご要望、西日本区ホームページに対するご意見・ご要望もお待ちしております。

1年間、皆様のご支援とご協力を宜しくお願いいたします。



「催促の三牧」復活!?

区報編集委員長 三牧 勉
(大阪茨木)

何とも思いがけないことが起こってしまいました。2015年7月発行の西日本区報第3号(通巻56号)で、西日

本区書記の任を終えた安堵感から、私は「もう催促しませんのでご安心を……」と書きました。実際、第1号でも『「締切厳守」お願いしま〜す!』と見出しをつけ、原稿や資料が思いどおりに集まらない苛立ちをついグチってきました。それが今期、あろうことか、区報編集委員長を拝命することになり、「催促の三牧、復活!」となった次第です。

私は「1級速記士」として、人のしゃべったことを文章にする業に長年携わってきました。特に週刊誌の場合、2時間の対談原稿を3日後に提出することも多く、原稿が間に合わないとその週刊誌も発行できず、締切りは非常に厳格でした。まあ、私は何とか徹夜で書いたりして間に合わせましたが、1日遅れたために10万円ほどの速記料をもらえなかった仲間もいました。

ワイズは原稿料も払いませんから、締切りはそれほど厳しくはありません。しかし、編集担当者は締切日を起点に発行までの作業工程を組み、準備をしているのです。遅れれば日程が狂い、作業も進みません。当然、催促など気の進まない作業もせざるを得ません。

とはいえ、原稿さえ集まればそれで万事終わりではありません。せっかく皆さんが心を込めて書かれた原稿です。一字一句に目を通し、その方の思いが読んだ人に伝わるように、との思いでチェックをさせていただきます。自然、踏み込んだ校閲をし、不本意ながらプライドを傷つけてしまうことも起こります。申し訳ないとは思いますが、つい余計なお世話をやくのが私の性なのかもしれません。でも、みんなに好かれようとは思いません。少し「うるさいやつだ」と思われるぐらいが、ちょうどよいかもしれません。

で、結局この1年、やっぱり「催促の三牧」を復活させます。うるさいぐらいでいいと割り切ります。前任者の三浦克文委員長(岡山)のような、心の広い、できた人間にはなれそうにありません。ご覚悟を!



区の活性化と 危機管理がねらい

組織検討・安全対策委員長
浅岡 徹夫(近江八幡)

今年6月末をもって西日本区役員としてのお役目は終えたところですが、7月より新たに組織検討・安全対策委員会委員長に任ぜられ、引き続き西日本区の役員会に

は出席させていただくことになりました。

組織検討・安全対策委員会は「区の活性化と危機管理のための施策を整備し、区役員会もしくは常任役員会に提案することを目的とする。」(同委員会規則第2条)と規定されており、大変重要な役割を担います。

今年3月に行われた遠藤通寛理事期の第3回役員会で、組織検討・安全対策委員会より西日本区定款細則の変更等、数多くの条文の改正を提言し、役員会の審議を経て、今年度よりその多くが適用されることになりました。したがって、そのフォローをすることと、継続して検討すべき課題や、新年度役員会で新たに取り上げられる課題について、今後も取り組んでいきたい。西日本区役員の皆様のご支援・ご協力を得ながら、西日本区の体制がより良い方向に向かって行けるよう尽力したいと思います。

今年1年間どうぞよろしくお願いいたします。



クリスチャニティー委員会 今期の目標

クリスチャニティー委員長
田上 正(熊本むさし)

新しく2名の委員を迎え、2016-2017年度のクリスチャニティー委員会が始まりました。6月25日の第19回西日本区大会懇親会の前にメンバーが集まりました。

西日本区チャプレンは、長い間ご奉仕くださった江見淑子ワイズ(大阪なかのしま)から立野泰博ワイズ(熊本ジェーンズ)に交代いたしました。

江見チャプレンはこれまで、西日本区理事通信の「今月の聖句 聖句夢想」をはじめ、次期役員研修会や次期会長・主査研修会でのキリスト教理解講座や礼拝の奨励を担当して下さいました。江見ワイズの分かりやすいお話が、私たちの心を癒してくださったことに感謝いたします。

立野ワイズは熊本市にある大江ルーテル教会の牧師さんです。立野ワイズの行動力、苦難の中にある人々への寄り添う熱い心は、第19回西日本区大会特別企画「東日本大震災をあらためて考える」をお聴きになった皆様にはご理解いただけるのではないかと思います。平成28年熊本地震後は、熊本でも被災者に寄り添う活動を精力的に続けておられます。お忙しい先生ですが、早速今期の7月理事通信から、「今月の聖句 聖書の小窓」を担当していただいています。

もう一人の新委員は、岩本芳久ワイズ(熊本ひがし)です。ミッションスクールに在籍する息子さんの影響を受けて大江教会に通うようになり洗礼を受けたクリスチャンです。熊本ひがしクラブ会長の重責を担う若手?のホープです。

今期の目標は、次期役員研修会や次期会長・主査研修会でのキリスト教理解講座の充実、研修会や役員会での礼拝の企画、理事通信での今月の聖句の継続の他に、西日本区HPにクリスチャニティー委員会のボックスを創る準備をしたいと思っています。

ボックスには、クリスチャニティー委員会の歴史のほか、メンバー紹介、キリスト教関連行事の解説、これまでの「今月の聖句」や「クリスチャニティー委員会アンケート」などを入れて、いつでも訪問していただけるようにしたいと思います。ワイズの皆様からの希望を生かしていきたいと思っています。

クリスチャニティー委員会には、ノンクリスチャンのワイズもおられます。クリスチャン、ノンクリスチャンは問いません。もし委員になってみたい方がおられましたら、私かメンバーまでお知らせください。



2016-2017 年度クリスチャニティー委員会メンバーは以下の 11 名です。よろしくお願いいたします。

委員長 田上 正(熊本むさし)

委員 西村 清(名古屋)

委員 高田 敏尚(京都)

委員 永井 康雅(和歌山紀の川)

委員 江見 淑子(大阪なかのしま)

委員 大田 厚三郎(神戸西)

委員 藤井 久子(神戸学園都市)

委員 三浦 克文(岡山)

委員 益国 隆人(広島)

委員 岩本 芳久(熊本ひがし)

チャプレン 立野 泰博(熊本ジェーンズ 日本福音ルーテル大江教会)



さあ西日本区20年目のスタートです

ヒストリアン 大槻 信二
(京都センチュリー)

1922 年、ワイズメンズクラブ国際協会が発足しました。日本では 1928 年に大阪クラブが国際認証を受け日本でのワイズメン運動がスタートしました。

その後、日本区として長く歩んできましたが、1997 年 7 月、東西副区から、正式にワイズメンズクラブ国際協会西日本区がスタートしました。西日本区が 20 年目を迎えた今期、一言で 20 年とは言え、この間には、多くの歴史が積み上げられて来ました。

これからの 1 年間の西日本区の動き、働きも間違いなくその歴史となって行きます。

ヒストリアンとしては、今までと同じく、この 1 年間の区の動きを漏れる事無く、歴史に紡いで行くことを使命と考えています。

因みに、西日本区では、ワイズメンズクラブ国際協会発足から 100 年、西日本区スタートから 25 周年にあたる 2022 年には、「西日本区 25 年の歩み」(仮称)として、記念記録誌の発刊を予定しています。

勿論、これはヒストリアン一人で出来ることではありません。そろそろ、西日本区内に、25 周年記念誌編纂委員会を立ち上げる時期が来ている様に思います。岩本悟理事を筆頭に役員の皆様と共に、今期中に方向性を確立したいと考えています。

役員の皆様だけではなく、総ての皆様のお働きが西日本区の歴史へと繋がっています。それらを編纂する為には、多くの皆様のお力を結集しなければなりません。今後、ご依頼を差し上げた時には、どうぞご協力の程、宜しくお願い致します。



トラベルコーディネーターってどんな事するの?

トラベルコーディネーター
石田 由美子 (宝塚)

2015 年 7 月、遠藤通寛西日本区理事期からこのお役目を担当して来た中で最も多い質問が「トラベルコーディネーター(TC)ってどんな事するの?」と言うものでした。

ロースターのトラベルコーディネーター服務規則第2条によれば、「国際または理事が認める公式ビジターの西日本区滞在にあたり、友愛をもって必要な連絡調整および援助することを目的とする。」と記載されています。

よく知られているのがBF代表の西日本区訪問です。時期としては、西日本区大会および東日本区大会出席を目的としている関係で6月になっています。2015年、2016年の大会にはBF代表の出席はありませんでした。

国際から東西日本区理事を通してBF代表の詳細が入ると、東日本区TCと相談しながら、それぞれの区内の予定と事前に出されている要望とを照らし合わせながら行程を組んで行きます。今迄関わった先輩達に伺うと、ホームステイを引き受けて頂く部・クラブを探し、交渉するのが一番労力のいる部分との事で、実際はキャンセルになりましたが、遠藤理事期最後の方にBF代表の滞在中の手配を経験して実感しました。

文化、国民性、経済状態など違いは多々様々で大変な仕事ですが、ワイズメンズクラブは国際団体であると言う大きな特徴を感じ、楽しさを味わえる役目である事は間違いありません。実際、国際TC、アジアTCとメールをやり取りしているとそれを感じます。

2年前、高瀬稔彦西日本区理事期の西日本区大会(岩国市)のときにはロシアからチャームングな歯科の女医さんが来日し、それがご縁で広島クラブとエカテリンブルク-1クラブはIBCとなりました。

このようなクラブ間の持続的な交流が出来てIBCとなりワイズの楽しさを実感出来るきっかけが提供出来るように、TCは心からのおもてなしに努めたいと思います。

これが標題の質問への回答です。各部部长のみならず、どうぞご協力をよろしくお願いします。



ワイズメンズワールドを読んでワイズになろう！

ワイズメンズワールド翻訳編集委員長
谷本 秀康 (東広島)

ワイズメンズクラブ国際協会は、アフリカ、アジア、カナダ・カリブ諸国、ヨーロッパ、インド、韓国、ラテンアメリカ、南太平洋、アメリカ合衆国の9エリア(本年度8月から南太平洋エリアとアジアエリアが合併し8エリア)から成る国際的奉仕団体であり、世界中で1,613クラブ28,549名(2015.2.1現在)が様々な奉仕事業や活

動を展開しています。

“Y's Men's World”『ワイズメンズワールド』(YMW)は、ジュネーブの国際本部が発行する公式機関紙で、国際会長や国際書記からのメッセージに加えて、世界各地のワイズメンズクラブが取り組んでいる事業や活動の中で特に注目すべきものを掲載しています。自分が所属する部や区の事業内容や活動を知ることはそれほど困難ではありませんが、世界的に見てワイズの事業や活動がどれほど多種多様であるかを知ることは容易ではありません。世界各国から寄せられた活動報告には、国は違っても「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」をモットーに、それぞれのクラブのメンバーが一丸となって地域に根ざした奉仕活動や国境を越えた奉仕活動に献身的に取り組んでいる様子が生き生きと描かれています。

ワイズメンズクラブ国際協会の事業が多岐に亘っているのは、9エリアに属する国々の社会的・地域的ニーズが多岐に亘っているからに他なりません。その意味で『ワイズメンズワールド』は、我々が生きている世界の多様性を知るまたとない情報源なのです。ご一読いただければ、改めて我々の属する組織がどれほど素晴らしい国際的奉仕団体であるかを再認識することができるでしょう。

オリジナル版 YMW の記事は全て英語で書かれており、日本語への翻訳作業を経て皆様の目に触れることとなります。日本語版 YMW は翻訳編集委員会のメンバーである東西日本区の英語が堪能な有志の方々の献身的な努力の賜物です。しかしながら、委員会のメンバーにも高齢化の波がひたひたと押し寄せており、若返りが求められています。ワイズメンズクラブ全体の若返りが不可欠であると同様に、翻訳作業を担う有能な若い人材を発掘することが大きな課題です。

一昨年度は英語版が発行されなかった為、委員会としての仕事はありませんでしたが、その反動?で昨年度は実に第4号まで発刊されました。第1号、第2号は全文が翻訳され、西日本区のホームページでご覧になれます。第3号、第4号の翻訳は現在進行形です。乞うご期待!



西日本区に新しい特別委員会が設置されました

財政問題等検討特別委員長
濱田 勉 (奈良)

財政問題等検討特別委員会は、今年度より新たに設けられました。

西日本区の財政問題や、事務所移転に関する事項等、財政に関わる全ての諸問題について期限(2～3年)を定めて検討する特別委員会です。

財政に関わる全ての諸問題(課題)といえは、かなり広範囲にわたりますが、関連する常置委員会や理事、理事キャビネット、西日本区役員の方々、そして多くのワイズメン・ワイズウィメンのご意見、ご助言を受けながら検討を進めていきたいと考えています。

諸問題ととらえればネガティブな感じですが、課題解決に対しポジティブにとらえ、ピンチをチャンスにする発

想思考で検討を進め、会員増強(EMC)がうまく行けば全て解決というだけの結論とならないよう、多方面からも検討する必要があります。

たとえば税法上の優遇措置に関する事として、「ワイズもたくさんの寄附を集めますが、各クラブを社員としてNPO法人格を取得し、その後、要件を満たして認定NPO法人となり税法上の優遇措置(税額控除)を受けることは可能か? 公益財団法人格は無理か?」等々、ハードルは高いですが、法人格取得は可能なのか? またその場合のメリット・デメリット等も検討する(深くではなく、浅くですが)ことも考えています。

当委員会のメンバーは、遠藤通寛(大阪泉北)、田中雅博(京都キャピタル)、三牧勉(大阪茨木)、渡辺真悟(名古屋)の各ワイズに就任して頂きました。

皆さま方からも「こうあるべき」「ここが気になる」「こんな事は…」等のご助言やご意見を頂きますよう、よろしくお願いいたします。



絆を糧に

理事事務局長 水元 裕二
(熊本にし)

今期、西日本区理事事務局長を拝命いたしました。

「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を!」を掲げる「熱男」岩本悟西日本区理事を支えるべく、気持ちも新たにワイズ運動発展のために事務局員一丸となって働こうという気概に燃えています。

理事事務局の業務としては、区事務所や国際とのスムーズな連絡、迅速かつ正確な情報提供、各種届出の正確な処理を心がけて参ります。

また、毎月発行される「理事通信」により、理事や事業主任様の想いを皆様にご理解いただき、さらに個々のメンバーのお働きを分りやすく伝えていけるよう、紙面を工夫し読みやすい形でお届けしようと思っております。皆様、お気軽にご寄稿いただきますようお願いいたします。

私自身はワイズ歴9年目で、区の役職は初めてですので、大役が務まるか不安もありますが、入佐孝三、佐藤通彦、前田香代子、平山俊生のベテランワイズ4名が事

務局員としてお手伝いいただくことになり心強い限りです。各自の賜物を生かしながら、協力して業務を進められればと考えております。

ここで紙面をお借りして一言お礼を申し上げます。4月14日、16日に発生した熊本地震の際に、自らが大きな被害を受けられた五嶋義行九州部直前部長(阿蘇)に代わり九州部の義援金口座を開設しましたところ、東西日本区のみならず韓国、台湾のワイズメンからも多額の義援金をいただきました。お陰様で理事キャビネットの最初の仕事として、岩本理事を先頭に発災当初から熊本YMCAとともに被災者の支援活動を開始することができ、今期の宮崎隆二九州部部長に無事引き継ぐことができました。遠藤通寛直前理事を始め、皆様から寄せられた励ましと温かいお心遣いに心よりお礼申し上げます。

新しい期をスタートする前に大災害に見舞われ、熊本の復旧・復興という大きな課題も背負いましたが、反面、家族や地域、さらにはワイズメン仲間の皆様との絆を再確認するという得がたい体験もしました。めげることなく、むしろ与えられた課題を楽しむような気持ちで頑張る所存です。

これからの一年間、宜しくお願い申し上げます。

2016 ～ 2017 年度 西日本区強調月間リスト

月	活 動	ス テ ー ト メ ン ト
1－6 月	綿密な計画	「段取り八分」という諺があります。計画の段階で物事の大方は決まります。いつまでに、何を、と具体的に計画しましょう！ 岩本 悟 理事(熊本にし)
7月	Kick-off EMC-MC	MCは新会員増強と意識高揚を図ること。楽しく充実した例会運営を図り、メンバー間の親睦を深め魅力あるクラブ作りを目指しましょう！ 山藤 哉 EMC事業主任(京都グローバル)
8月	Youth Activities	ユースに国境を越えた友情を体験する機会を提供し平和な世界を築きましょう！ 堤 弘雄 YMCAサービス・ユース事業主任(熊本)
9月	Menettes	各クラブでメネット例会を企画し、国内プロジェクトへの理解を深めて下さい。ワイズは、家族で参加できるボランティア団体です。ファミリーでの活動と呼びかけ広めましょう！ 亀浦尚子 メネット事業主任(熊本にし)
10月	BF EF	国際協会に所属するワイズメンとして全ての仲間である国々を周知する目と心と義務を育てよりBF／EFへの意識を高めましょう！ 森田美都子 国際・交流事業主任(京都パレス)
11月	Public Relations Wellness	ワイズデーをPRして、ワイズメンズクラブの社会的認知度を高めましょう！そしてEMCやクラブ活性化に繋げましょう！ 伊藤 剛 広報・情報委員長(京都トウビー)
12月	EMC-E YES	Eは新クラブを設立すること。YESは新クラブ設立支援に使われます。献金で集められた資金の3分の2は、集められたエリアの区で使われます。 山藤 哉 EMC事業主任(京都グローバル)
1月	IBC DBC	新しいワイズの世界を求めてIBC／DBCのお見合いをしましょう！ 積極的なアプローチから広がる世界の仲間との親睦の輪、和、話！ 森田美都子 国際・交流事業主任(京都パレス)
2月	TOF CS FF STEP for ALL	多くの方々がそれぞれの献金に参加する事ができるよう、それぞれの献金の意義を確かめ合い、そしてその心遣いと思いが、社会を変える一歩に繋がります。献金にご協力ください。先人が歩んだ道を私たちワイズメンが次世代へ。 福島貴志 地域奉仕・環境事業主任(熊本スピリット)
3月	JWF	JWFは皆様の厚意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします！ 森本榮三 JWF管理委員長(大阪高槻)
4月	YMCAサービス・ ASF	YMCAの愛と奉仕の活動を支援しつつ、次代を担うユースの育成に力を注ぎましょう！ 堤 弘雄 YMCAサービス・ユース事業主任(熊本)
5月	LT	リーダーシップ無くしてリーダーに非ず！ クラブ、部、区、あらゆる機会に学びの場が存在します。その機会を学びと捉えるか否かがリーダーの資質の違いです。全てを有意義に捉えリーダーシップを身に付けて下さい。 船木順司 ワイズリーダーシップ開発委員長(京都トップス)
6月	評価・計画	1年を振り返り、出来た事はクラブをメンバーを自分を、大いに褒めて下さい。出来なかった事は、記録にまとめ次年度に活かしましょう！ 次年度役員の方は、綿密な計画を作りましょう！ 岩本 悟 理事(熊本にし)
通年	PR	ワイズメンズクラブの活動をホームページ・ブリテンでクラブ内外の人達に事あるごとにアピールしましょう！ 伊藤 剛 広報・情報委員長(京都トウビー)

西日本区事務所及び理事事務局の業務等比較

西日本区事務所	西日本区理事事務局
〒532 - 0012 大阪市淀川区木川東 4-5-4 (株)新上野ビル3F TEL : 06-4805-0570 FAX : 06-4805-0571 E-mail : info@ys-west.or.jp 業務時間 : 月～金曜日 PM1 : 00～5 : 00 休日 : 土・日・祝日・既定の休日 事務所長 長尾 亘 担当職員 生雲 文枝	〒860-0059 熊本市西区野中3-8-20 西日本区理事事務局長 水元 裕二 TEL : 096-335-8811 FAX : 096-335-8811 携帯 : 090-2390-9375 E-mail : mizumped@lime.ocn.ne.jp 理事 岩本 悟 書記 亀浦 正行 会計 森 律子 事務局長 水元 裕二
西日本区関係 1. 会計事務 ①区費等(前期・後期)の請求及び収納 ②入会金・加盟金の請求・受領と関係物品の発送 ③献金、その他の受領 ④経常会計経費及び特別会計の出納 ⑤毎月の経常会計及び特別会計の報告 ⑥年度会計報告書作成の補佐 ⑦国際会費他区別会計の送金 ⑧その他西日本区会計の補佐 2. 区財産の管理保管 3. 会員異動報告書の受理 4. 国際半年報の報告及び加盟に関する手続 5. 海外ワイズメンの招請手続 6. 国際、アジア地域、他区との連絡補佐 7. 西日本区役員会、代議員会等諸会議の運営補佐 8. 国際大会、アジア地域大会、西日本区大会等の運営補佐 9. 物品販売の管理の補佐 文献保存、ヒストリアン関係 1. 文献資料の発行・収集・管理保存 2. 重要資料の永久保存 3. 海外文献等の翻訳補佐	1. 年間方針・計画の策定、一般行政の執行、年度報告書の作成 2. 年間予算案の作成、財政の執行、年度会計報告書の作成 3. 新クラブ加盟金額の決定 4. HANDBOOK & MEMBERSHIP ROSTER の発行 5. 半年報の取りまとめ 6. 「西日本区報」の発行(区報編集委員会と共に) 7. 「理事通信」の発行 8. 経常会計、特別会計の支出通知 9. 諸文書の整備保管と後任者への引継ぎ 10. 役員会、常任役員会、代議員会の準備・招集・運営・記録 11. 国際、アジア地域、他区との連絡通信 12. 海外文献等の翻訳 13. 国際大会、アジア地域大会への参加促進 14. 西日本区大会の調整打合せ 15. 西日本区事務所の運営

西日本区第1回準備役員会議事録

開催日時：2016年4月9日(土) 15:38～16:40

10日(日) 9:00～11:00

開催場所：ホテルクライトン新大阪

出席者(敬称略)

議決権役員 19人中 19人出席 1名代理出席

＜常任役員＞理事 岩本 悟、次期理事大野 勉、

書記 亀浦正行、会計 森 律子

＜部 長＞中部 川口 恵、びわこ部 宮本年博、

京都部 廣井武司、阪和部 生駒義範、

中西部 西野陽一、六甲部 長井慎吾、

瀬戸山陰部 中野 浩、西中国部 佐竹早苗、

九州部書記 加藤国博(代理出席)

＜事業主任＞Yサ・ユース 堤 弘雄、

地域奉仕・環境 福島貴志、EMC 山藤 哉、

国際・交流 森田美都子、メネット 亀浦尚子

＜監 事＞財政 高瀬稔彦

＜常置委員会委員長＞JWF 管理委員会 高瀬稔彦、

広報・情報委員会 加藤信一(1日目のみ)、

元理事 森本榮三(2日目のみ)

＜理事事務局＞事務局長 水元裕二、

事務局員 入佐孝三、平山俊生

＜区事務所＞所長 長尾 亘、生雲文枝

＜連絡主事＞日本 YMCA 同盟 有田征彦

欠席者(敬称略) 1名

九州部部長 宮崎隆二

《第1日目》

司会 書記 亀浦正行

1. 岩本理事挨拶

2. 会議出席者と会議成立確認、議決権の確認、議事進行の要領と方法説明 亀浦正行書記

〈阪和部部長報告〉 生駒義範(2日目欠席の為)

部会：9月4日 会費 4,000 円

今後のワイズ・YMCA の方向付けを検討する。メーリングリストにより各部の悩み・問題点を共有。和歌山県下田辺に新クラブ設立を目指す。

〈議案審議〉

議長 理事 岩本 悟

司会 書記 亀浦正行

第1号議案 2016 - 2017 年度西日本区役員会等の日程の件

議案 提案者 書記 亀浦正行

承認

第2号議案 2016-2017 年度西日本区事業委員会・常置委員会・専任委員の委員長・委員選任の件

議案提案者 理事 岩本 悟

承認

第3号議案 2016-2017 年度ロースターの発行部数等の承認を求める件

議案提案者 書記 亀浦正行

発行部数を 1,650 部とし、印刷費用は 1 部 1,728 円、

販売価格は 1 部 1,900 円とする。

承認

第4号議案 2016-2017 年度交通費支給基準の件

議案提案者 会計 森 律子

従来通りの 70%支給とする。

承認

第5号議案 2016-2017 年度西日本区会計予算案及び事業費収支予算案承認の件

議案提案者 会計 森 律子

翌日継続審議

協議事項

第3号協議 広報・情報委員会の役割と活動について

提案者 理事 岩本悟

※加藤信一広報・情報委員会委員長2日目欠席の為、繰上げて協議

広報・情報委員会の役割を今一度認識するとともに、意見が欲しい。

加藤委員長 区の HP が一新された。事業主任通信、部会の資料等も PDF や Word で up 可。PR や up したい情報は、写真などは相手の了承を得た上で、理事事務局を通して広報・情報委員会へ提出を。ユースの情報もユース自らあげてもらうシステムを作る予定。クラブの活性化、部の活性化のため、情報委員会の有効活用をお願いしたい。

《第2日目》

〈事業活動報告〉

Yサ・ユース事業 主任 堤 弘雄

ユースに経験・体験の場を作っていただきたい。各クラブ・部が支える YMCA がどのようなことをしているかを把握し、それらの情報を提供したい。各 YMCA が行っている活動・事業へ YMCA やワイズメンズクラブの将来を見据えた種まきのつもりで、資金面でも各クラブが支援してほしい。

地域奉仕・環境事業 主任 福島貴志

クラブによっては、CS 献金などのお金を出さなくては
いけないということが足かせになり衰退していくところも
あるように思われるので、地域奉仕・環境事業への理解
促進(特に会長に)をはかる必要があると感じている。
CS、TOF、ロールバックマラリアなどの献金の使途につ
いての理解を進めたい。

EMC事業 主任 山藤 哉

200名増員、新クラブ5クラブ設立を目標にご協力を。
各部とも期首にできるだけ早く EMC シンポジウムを開
催してほしい。メンバー増員・ドロップアウト防止対策を
皆さんと考えたい。

国際・交流事業 主任 森田美都子

国際をできるだけ身にしみて感じていただくような活
動をしたい。各部ごとに期首早期に事業委員会を開催し
てほしい。まず部長・主査さんは(DBC、IBCの)実態
把握を。YEEP、STEPも人材発掘という視点で意識し
ていただきたい。BF代表を受けるだけでなく出したい。
台湾の国際大会でIBC締結(京都キャピタルクラブと
台湾アルファクラブ)予定。DBCは大阪高槻クラブと千
葉クラブが次期に締結決定。

メネット事業 主任 亀浦尚子

国内事業「えすぺらんさ」の環境整備内容(予算に合
わせた)を福岡YMCA 森本氏、えすぺらんさ小田代表
と協議中である。支援金は150万円の予定。メネット主
査研修会を、7/23に福岡えすぺらんさで開催予定。メネ
ット事業委員会でファンドを選定中。支援先はえすぺら
んさではあるが、国内プロジェクトの趣旨は不登校・引きこ
もりの子供たちへの理解が第一義である。

岩本悟理事コメント

事業主任が主査に連絡する際はCCで部長へも連絡
を。事業主査研修会はできれば、部会と連動してもよい
が早め開催が望ましい。

〈部活動報告〉

中部 部長 川口 恵

部会：8月28日(日)12:30～16:30 予定

メネットアワー 11:00～

9月24日 名古屋YMCA大会にてYYYフォーラム

11月26日 第2回評議会時にEMCシンポジウム

来期はAYCに派遣できるようにしたい。

びわこ部 部長 宮本年博

彦根クラブのIBC締結 Y's Men's Worldに掲載。
彦根YMCA会館(滋賀YMCA)閉鎖のため彦根クラブ、
彦根シャトークラブの事務所移転

部会：10月8日 乗船の都合上200名限定。

7月3日 滋賀YMCAキャンプ場でWork(草刈り、テ
ント設営)

京都部 部長 廣井武司

部会：9月11日 新クラブのチャーターナイト開催。

次期会長、事業主査のうち2名がガンに罹患。

中西部 部長 西野陽一

次期会長・主査研修会で次期会長・主査に方針・活
動計画を提出してもらい全員で共有した。「ワイズの森づ
くり・ウナギの森植林活動」が中西部の大事業になる。

部会：9月3日 神峯山寺近藤住職の講演

7月メネット引継ぎ会、11月YYYフォーラム、EMCシ
ンポジウム：未定

六甲部 部長 長井慎吾

2クラブが消滅の危機、次期大野勉理事期の部長未定。

部会：11月12日 ラッセホール

現存8クラブの事情を把握して結束を固め、活性化を図
る。

瀬戸山陰部 部長 中野 浩

「存続」がキーワード メンバー101人(2008年1月)
→66人(2016年1月)

EMCシンポジウム：7月18日の評議会で開催。

部会・メネットアワー：10月15日(土)ハンセン病患者さ
んの講話

西中国部 部長 佐竹早苗

1月30日に次期役員研修会開催、3月の次期会長・
主査研会で意見交換。7月2日 EMCシンポ、YYY
フォーラム開催。

部会：10月29日(土) 岩国みなみ5周年、メネットアワー。

呉クラブの発展的解消によるエクステンションは延期。

広島クラブの子クラブを考慮中。

九州部 書記 加藤国博(宮崎隆二九州部部長代理)

部会：10月2日

周年例会：北九州60周年9月24日、熊本ジェーンズ

30周年11月12日、熊本むさし20周年2017年1月7日、

YMCA 水前寺幼稚園を基盤に新クラブ設立予定。

九州部チャリティーバトン：年余にわたる継続事業を図
る。福岡・鹿児島・熊本チャリティーラン、宮崎チャリティー
ゴルフ。

〈議案審議〉

第5号議案 審議再開

結果：予算案を修正し、第2回準備役員会に提出

〈協議事項〉

第1号協議 事業主任招聘プログラムの旅費等に係る部・クラブの負担配慮のお願い

提案者 書記 亀浦正行

事業主任招聘プログラム、特にYサ・ユース事業のYY(Y)フォーラム、EMC事業のEMCシンポジウムの両プログラムは、全9部で開催されるが、新幹線利用が必要な開催地の場合、担当事業主任の旅費交通費について、開催地の部やクラブによるご負担にご配慮をお願いしたい。

第2号協議 西日本区理事及び役員の出席プログラムとの日程調整等につき配慮のお願い

提案者 書記 亀浦正行

1. 各部・クラブの事業や例会等に理事や役員を招待される場合、区の役員会等日程を十分にご確認ください(年間予定表の参照)。

2. 事業や例会等の計画時には、書記へ候補日を早くお知らせください。他の部やクラブが計画された予定日との調整ができるよう、日程には余裕を持ってください。

Q: 事業主査の交通費まで補助があるのか?

A: 事業主任主査研修会に限り補助がある。

理事事務局からの連絡・報告・依頼事項

理事事務局長 水元裕二

西日本区第2回準備役員会議事録

開催日時: 2016年6月25日(土) 9:00～10:00

会場: ツイン 21MD タワー4F 第4会議室

出席者(敬称略)

議決権役員 19人中 18人出席(1名代理出席)

〈常任役員〉理事 岩本 悟、書記 亀浦正行、

会計 森 律子、次期理事 大野 勉

〈部長〉中部部長 川口 恵、

びわこ部部長 宮本年博、京都部部長 廣井武司、

阪和部部長 生駒義範、六甲部部長 長井慎吾、

瀬戸山陰部部長 中野 浩、

西中国部部長 佐竹早苗、九州部部長 宮崎隆二、

中西部部長代理 栗田達夫(部次期会計)

〈事業主任〉Yサ・ユース事業主任 堤 弘雄(遅参)、

地域奉仕・環境事業主任 福島貴志、

EMC事業主任 山藤 哉、

国際・交流事業主任 森田美都子、

メネット事業主任 亀浦尚子

〈監事〉財政 高瀬稔彦

〈常置委員会委員長〉JWF管理委員会 森本榮三

〈理事事務局〉事務局長 水元裕二

事務局員 入佐孝三、平山俊生、前田香代子

〈オブザーバー〉次期西日本区会計 桑野友子

欠席 中西部部長 西野陽一

開会宣言

理事 岩本 悟

ワイズソング斉唱

開会挨拶

理事 岩本 悟

私も命を懸けて頑張るので、皆さんもワイズ発展のため

にご尽力いただきたい。有難いことに、元YMCA同盟総主事の山田公平さんからYMCA関係者をワイズに紹介する仕組みを作りたいという申し出があり、元理事の森田恵三さんもワイズ発展のために再度頑張りたいという温かい励ましをいただいた。フォローの風が吹き出している。

会長・主査研修会をホテル経費高騰のため会場を六甲山YMCAに変更したい。11月の第2回役員会に修正予算を提出する。2017年2月4日、5日に20周年の東西日本区交流会を東山荘で開催する。

〈議案審議〉

議長 理事 岩本 悟

司会 書記 亀浦正行

出席者と会議成立の確認、議決権の確認

書記 亀浦正行

第1号議案 第1回準備役員会議事録承認の件

議案提案者 書記 亀浦正行

承認

第2号議案 2016～2017年度西日本区事業委員会・常置委員会・専任委員の委員長・委員選任の件

議案提案者 理事 岩本 悟

第1回準備役員会以降に、新たに財政問題等検討特別委員会の設置、ならびに各種委員の一部変更があったため。

承認

第3号議案 2016-2017年度西日本区会計予算案及び事業費収支予算案承認の件

議案提案者 会計 森 律子

承認

第4号議案 第21回西日本区大会開催日程及び会場について

提案者 次期理事 大野 勉
前夜祭 2018 年6月8日(金)北野ガーデン(予定)
大会第1日目 6月9日(土)ANAクラウンプラザホテル神戸
大会第2日目 6月10日(土)ANAクラウンプラザホテル神戸
承認

〈報告・連絡事項〉 理事事務局長 水元裕二

第20回西日本区大会アピール

実行委員長 入佐孝三

〈監事講評〉 財政監事 高瀬稔彦

1. 年4回の区役員会を補完するものとして常任役員会

が開催され重要な決定がなされるケースが増えているが、財政問題等検討特別委員会の中身については、逐次各部の利益を代弁する部長様に情報公開していただき、拙速に物事を進めることのないように部長様が在席されている場で協議を進めていただきたい。

2. ブログの利用については生の情報を共有して円滑に運営していくという試みには賛成だが、西日本区のHPを含めた広報・情報委員会との協働、連携をとってほしい。

熊本地震支援へのお礼と現状報告

九州部部长 宮崎隆二

YMCAの歌斉唱

閉会挨拶

理事 岩本 悟



2016 年 7 月 16 日 第 1 回役員会

編集後記

オリンピックの熱さは大歓迎だが、今夏の暑さをご勘弁——といった中で区報第1号の完成です。

締切後に原稿催促をしたのは4件、しかも1回のみ。思いがけない？結果に「催促の三牧」も拍子抜け。ともあれ、ご協力に感謝します。表紙は熊本地震に思いを込めた藏知 武委員のデザインで、記事もそれぞれが思いを訴えるものだと確信します。英和・和英翻訳の谷本秀康ワイズにも感謝です。

願わくはワイズの皆さんに読まれること、それこそが編集・発行者の願いです。

(三牧)

【区報編集委員会】

委員長 三牧 勉(大阪茨木)

委員 藏知 武(岡山)

委員 井之上 温代(滋賀蒲生野)

委員 亀浦 正行(熊本にし)

委員 水元 裕二(熊本にし)

西日本区現勢

2016年7月1日現在

部	クラブ名	2016.7.1	2016.1.1	2015.7.1	増減
中部	金 沢	10	10	10	0
	名 古 屋	24	24	22	2
	名古屋東海	19	18	17	2
	名古屋南山	9	9	9	0
	四 日 市	12	15	14	-2
	名古屋グランパス	14	14	13	1
	津	4	4	5	-1
	金 沢 犀 川	5	5	5	0
小 計	8	97	99	95	2
びわこ部	近 江 八 幡	18	20	19	-1
	彦 根	10	10	10	0
	彦根シャトー	26	27	27	-1
	長 浜	29	38	37	-8
	草 津	13	13	10	3
	滋賀蒲生野	12	13	13	-1
小 計	6	108	121	116	-8
京都部	京 都	31	32	33	-2
	福 知 山	8	8	8	0
	京都パレス	60	61	63	-3
	京都ウエスト	33	32	32	1
	京都めいぷる	25	25	25	0
	京都キャピタル	38	40	41	-3
	京都プリンス	16	16	16	0
	京都センチュリー	9	11	11	-2
	京都ウイング	45	45	44	1
	京 都 洛 中	16	16	16	0
	京都エイブル	14	14	14	0
	京都グローバル	51	54	58	-7
	京 都 み や び	11	11	11	0
	京都トップス	49	52	56	-7
	京都トゥービー	32	32	33	-1
	京 都 東 稜	12	14	15	-3
	京 都 ウ ェ ル	8	7	7	1
	京 都 Z E R O	23	19	22	1
小 計	18	481	489	505	-24
阪和部	和 歌 山	19	21	20	-1
	奈 良	23	23	23	0
	大阪サウス	24	24	22	2
	大 阪 堺	10	11	10	0
	大 阪 河 内	16	18	17	-1
	大 阪 長 野	5	5	6	-1
	大 阪 泉 北	18	18	18	0
	和歌山紀の川	18	16	16	2
小 計	8	133	136	132	1

注1 会員数には連絡主事を含み、特別メネットを除く

注2 増減は前年度7月1日との比較

部	クラブ名	2016.7.1	2016.1.1	2015.7.1	増減
中西部	大 阪	14	17	18	-4
	大阪土佐堀	21	20	19	2
	大阪千里	4	4	4	0
	大阪高槻	18	18	18	0
	大阪センテニアル	21	19	18	3
	大 阪 西	18	17	17	1
	大 阪 茨 木	14	15	15	-1
	大阪セントラル	8	8	9	-1
	大阪なかのしま	19	19	17	2
小 計	9	137	137	135	2
六甲部	神 戸	19	21	21	-2
	西 宮	23	22	22	1
	神 戸 西	10	12	12	-2
	神 戸 ポ ー ト	20	20	19	1
	宝 塚	19	20	21	-2
	さ ん だ	8	8	8	0
	神戸学園都市	15	15	15	0
	芦 屋	17	17	17	0
小 計	8	131	135	135	-4
瀬戸部 山陰部	姫 路	9	9	9	0
	岡 山	22	22	22	0
	鳥 取	11	13	13	-2
	姫路グローバル	11	11	12	-1
	米 子	11	11	11	0
小 計	5	64	66	67	-3
西中国部	広 島	22	24	23	-1
	福 山	7	5	4	3
	呉	11	12	13	-2
	東 広 島	7	7	7	0
	岩 国	10	8	9	1
	岩 国 み な み	17	18	18	-1
小 計	6	74	74	74	0
九州部	長 崎	5	5	5	0
	熊 本	27	27	28	-1
	北 九 州	12	10	10	2
	福 岡 中 央	14	16	17	-3
	熊本ジェーンズ	34	32	33	1
	八 代	7	8	7	0
	鹿 児 島	13	13	13	0
	熊本むさし	21	21	21	0
	熊本みなみ	21	21	22	-1
	宮 崎	13	11	10	3
	熊本ひがし	27	28	27	0
	阿 蘇	20	21	19	1
	熊 本 に し	24	29	27	-3
	熊本ヤング	11	11	12	-1
	熊本スピリット	20	20	20	0
小 計	15	269	273	271	-2
合 計	83	1,494	1,530	1,530	-36



第1報

第2回 東西日本区交流会

東西日本区は今期第20期を迎えました。2005年2月に第1回東西日本区交流会が開催されましたが、今期20周年を記念して、

「語ろう!

未来につなぐワイズスピリットを!」

を合言葉に、第2回東西日本区交流会を開催させて頂くこととなりました。

開催日:2017年2月4日(土)~5日(日)

「前夜祭」2月3日(金)も計画中です。

会 場:日本YMCA同盟 東山荘

静岡県御殿場市東山1502



東山荘は、100年の歴史の中で国内外の多くの指導者を育んできました。世界文化遺産となった富士山の眺望に恵まれた、日本のYMCAが誇る国際青少年センターです。ご存知の通り、現在新本館の建設が着々と進んでいます。



2005年 第1回東西日本区交流会
DBC締結式



着々と建設の進む東山荘新本館

第2版以降、順次詳細をご案内致します。多数の皆様、ご参加をご予定ください。

主催:ワイズメンズクラブ国際協会東日本区&西日本区



ワイズメンズクラブ国際協会

第20回 西日本区大会

地震を乗り越え
未来につなぐワイズ魂

～わきあがる感動を熊本から～

2017年 6月10^土日 11^日

会 場 前夜祭(9日)：菊池温泉(美人の湯と熊本産グルメのタベ)
1日目(10日)：菊池市文化会館(バス送迎有)
2日目&懇親会：ホテル日航熊本

ホストクラブ
熊本にしクラブ

熊本クラブ・熊本ジェーンズクラブ・八代クラブ・熊本むさしクラブ・
熊本みなみクラブ・熊本ひがしクラブ・阿蘇クラブ・熊本ヤングクラブ・
熊本スピリットクラブ



も く じ

ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！	理事 岩本 悟	1
ごあいさつ		
人生60年、その後は、余生	次期理事 大野 勉	4
ミスターエクステンションになるために	直前理事 遠藤 通寛	4
22世紀に生きる君たちへ	書記 亀浦 正行	4
西日本区会計の就任にあたり	会計 森 律子	5
ワイズメンズ運動の豊かな展開を	行政監事 松本 武彦	6
躍動感のある西日本区に！	財政監事 高瀬 稔彦	6
ワイズメンズクラブ国際協会から		
豊かで実りある一年を	国際会長 ジュアン・ウイルソン	7
素晴らしい成果を願う	アジア地域会長 チュン・ミンシャオ	7
今期の西日本区に注目	国際書記長 西村 隆夫	8
東日本区理事から		
西日本区の「ワイズ魂」に期待	東日本区理事 利根川 恵子	8
日本YMCA同盟から		
『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る	日本YMCA同盟総主事 島田 茂	9
熊本に寄り添う1年に	日本YMCA同盟連絡主事 有田 征彦	9
事業主任の活動方針		
愛と奉仕の精神を全てのユースへ！	Yサ・ユース事業主任 堤 弘雄	10
自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよう	地域奉仕・環境事業主任 福島 貴志	11
ワイズ魂でメンバー増強！	EMC事業主任 山藤 哉	11
Let's～ サァー、やりましょう！	国際・交流事業主任 森田 美都子	13
前に向かって！！	メネット事業主任 亀浦 尚子	14
部長メッセージ		
出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう	中部部長 川口 恵	15
ワイズメンズクラブと親父	びわこ部部長 宮本 年博	15
未来に向けて	京都部部長 廣井 武司	16
虹の架け橋	阪和部部長 生駒 義範	17
世界をみつめ、地域とあゆむ	中西部部長 西野 陽一	18
我々の足元を着実に	六甲部部長 長井 慎吾	19
部の再生を図る！	瀬戸山陰部部長 中野 浩	20
西中国部100人達成	西中国部部長 佐竹 早苗	20
いま自分がワイズで出来ること	九州部部長 宮崎 隆二	21
常置・専任・特別委員長からのメッセージ		
JWF献金にご協力を	JWF管理委員長 森本 榮三	22
LDが未来のワイズを築く！	ワイズリーダーシップ開発委員長 船木 順司	23
区ホームページをご活用ください！	広報・情報委員長 伊藤 剛	23
「催促の三牧」復活！？	区報編集委員長 三牧 勉	23
区の活性化と危機管理がねらい	組織検討・安全対策委員長 浅岡 徹夫	24
クリスチャニティー委員会 今期の目標	クリスチャニティー委員長 田上 正	24
さあ西日本区20年目のスタートです	ヒストリアン 大槻 信二	25
トラベルコーディネーターってどんな事するの？	トラベルコーディネーター 石田 由美子	25
ワイズメンズワールドを読んでワイズになろう！	ワイズメンズワールド翻訳編集委員長 谷本 秀康	26
西日本区に新しい特別委員会が設置されました	財政問題等検討特別委員長 濱田 勉	27
絆を糧に	理事事務局 水元 裕二	27
2016～2017年度西日本区強調月間リスト		28
西日本区事務所及び理事事務局の業務等比較		29
西日本区第1回準備役員会議事録		30
西日本区第2回準備役員会議事録		32
編集後記		33
西日本区現勢		34

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理 事 事 務 局／〒860-0059 熊本市西区野中3-8-20

TEL 096-335-8811 FAX 096-335-8811

E-mail : mizumped@lime.ocn.ne.jp

西日本区事務所／〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-5-4 (株)新上野ビル3F

TEL 06-4805-0570 FAX 06-4805-0571

E-mail : info@ys-west.or.jp